

健康栄養学部報

第1号

平成22(2010)年度

高知県立大学 健康栄養学部

平成23(2011)年4月、高知女子大学は、校名を「高知県立大学」に変更しました。

目次

I. 健康栄養学部の歩み	1
1. 沿革	5
2. 画像で見る歴史	5
3. 組織	7
4. 学部の教育理念	7
II. 健康栄養学部の教員構成	9
III. 健康栄養学部の教育課程	13
1. カリキュラム（授業科目一覧）	15
2. 平成 22 年度時間割	17
3. 学生の研究（卒業研究題目一覧）	19
4. 学外実習先一覧	20
IV. 学生の記録	21
1. 学生定員および出身県別在籍学生数	23
2. 入試状況の概要	24
3. 卒業生の進路状況（就職状況）の概要	26
4. 国家試験の合格状況（平成 22 年度）	27
5. 学生を中心とした活動	28

V. 教員の教育・研究・地域貢献活動 …… 35

1. 植田 哲雄 …… 37
2. 川村 美笑子 …… 38
3. 佐藤 厚 …… 40
4. 逸見 幾代 …… 42
5. 村上 尚 …… 44
6. 渡邊 浩幸 …… 45
7. 和田 安彦 …… 47
8. 荒牧 礼子 …… 49
9. 清水 扶美 …… 51
10. 島田 郁子 …… 53
11. 西岡 道子 …… 55
12. 廣内 智子 …… 56
13. 三木 章江 …… 58
14. 古川 弘子 …… 60
15. 彼末 富貴 …… 62
16. 川村 真美 …… 64
17. 沼田 聡 …… 66

VI. 各種委員会活動報告 …… 69

1. 入試実施委員会 …… 71
2. 教務委員会 …… 72
3. 学生委員会 …… 73
4. 学部就職担当 …… 74
5. 広報委員会 …… 77
6. 地域創成センター推進委員会 …… 78
7. 健康長寿センター運営委員会 …… 79
8. 国際交流委員会 …… 81
9. 健康管理センター運営委員会 …… 82
10. 総合情報センター運営委員会 …… 83
11. 人権委員会 …… 84
12. 健康栄養学研究倫理専門審査委員会 …… 84
13. 紀要編集委員会 …… 85



I

健康栄養学部の歩み

健康栄養学部初年度の歩み

高知女子大学

健康栄養学部長 佐藤 厚

高知女子大学の伝統と歴史

高知女子大学は、第2次世界大戦末期の昭和20年（1945）、高知県立女子医学専門学校として創立されました。しかし、高知市最初の空襲によって永国寺校舎が焼失し、終戦を迎えました。さらに、翌年の昭和21年12月、昭和南海地震によって女子医専は壊滅し、維持不能の事態に追い込まれ、僅か2年で廃止となりました。

昭和南海地震による死者は行方不明者を含めて1,443名、高知県では679名が犠牲となりました。翌昭和22年（1947）、高知県立女子専門学校が設置され、この女子専門学校を母体として昭和24年に高知女子大学が誕生しました。女子医学専門学校から数えて65年、その伝統を引き継ぎ、本学出身者は、国内そして世界中で活躍しています。

平成15年には管理栄養士養成課程を設置、平成22年に施設整備を行い、池キャンパスに移転、定員を拡充して生活科学部健康栄養学科は、健康栄養学部健康栄養学科となりました。この記念すべき年を節目として、平成23年度からの男女共学化及び校名変更、さらには高知県公立大学法人化にむけて全学をあげて大学改革を図り、カリキュラムの見直し、教育・研究体制の充実などさらなる向上を目指しています。

本冊子には健康栄養学部開設1年目の教育・研究活動をまとめました。個々の教員がこれらの結果を自己点検評価し、将来の健康栄養学部の教育・研究活動に繋げていけるかが学部の将来の発展を大きく左右すると考えています。また、高知県、そして日本の健康を担うことができる人材を育成するために、池キャンパスの看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部の3学部と隣接する高知医療センターとが連携し、「高度職業人人材育成拠点」として、専門職連携教育に努力してまいります。

本冊子の編集中の平成23年3月11日、三陸沖を震源としたM9.0の「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。巨大津波が人を、車を、家を、町を襲い、未曾有の被害をもたらし、人々に甚大な損失と恐怖を与えました。この震災からの復興の道りは、長く険しいものとなるでしょう。

震災直後に、公立大学における災害対策の現状把握を行い、残念ながら、公立大学の災害対策は決して十分ではないという実態が明らかとなりました。健康栄養学部では、教員を被災地へ派遣し、栄養士・管理栄養士としてできることを、そしてきたるべき「南海地震」に備えて、地域と連携した防災対策の取り組みを行ってまいります。



昭和南海地震の強烈な爪痕が残る中、地域で救護活動を行う学生



東北地方太平洋沖地震の被災地で食生活支援活動



永国寺キャンパス



池キャンパスの本部・健康栄養学部棟

最後に、謹んでこの度の東日本大震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。また被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。



池キャンパスと高知医療センター

I - 1. 沿革

昭和19年12月29日	高知県立女子医学専門学校設立認可
昭和22年 3月31日	高知県立女子専門学校設立認可
昭和24年 2月21日	高知女子大学（家政学部生活科学科）設立認可
昭和39年 4月 1日	家政学部生活科学科を家政学科・食物栄養学科・生活理学科に改称
平成15年 4月	管理栄養士養成施設として認可
平成22年 4月	生活科学部健康栄養学科から健康栄養学部健康栄養学科に学部昇格（定員20名→40名） 本部及び健康栄養学部が池キャンパスに移転
平成23年 4月	高知県立大学法人が設置・運営する大学に移行 男女共学化により校名を「高知県立大学」に変更

I - 2. 画像で見る歴史

本部・健康栄養学部棟の建設着工にあたり、平成21年3月31日に池キャンパスで地鎮祭が実施されました。



永国寺キャンパス正門



池キャンパス地鎮祭



本部・健康栄養学部棟建築中



基礎工事



本部・健康栄養学部棟建築中

永国寺キャンパスでは、平成22年4月の健康栄養学科の学部昇格に伴う永国寺キャンパスから池キャンパスへの移転を控え、平成21年1月より、南学舎の実験・実習室の引っ越しを皮切りに、3月には、南学舎の研究室、次に実験棟の実験・実習室、研究室、集団給食実習室の引っ越しを行いました。



平成22年度入学式

平成22年3月下旬には、全ての実験実習器機、オフィス備品等の移動、整理が終了し、同年4月1日に、健康栄養学部健康栄養学科となり、管理栄養士養成校として公立大学で初めての学部がスタートし、同年4月6日には、健康栄養学部1期生40名を迎えることとなりました。学生定員が倍増拡充し、機能的で斬新なデザインの校舎、整備された設備のもと、地域社会の向上に寄与することができる食のエキスパート“管理栄養士”を育てています。

I - 3. 組織

		■学部入学定員270名	■大学院入学定員39名
学部等	学科/研究科	入学定員	3年次編入定員
文化学部	文化学科	80名	5名
	文学専修		
	文化創造専修		
	言語コミュニケーション専修		
看護学部	看護学科	80名	4名
社会福祉学部	社会福祉学科	70名	-
健康栄養学部	健康栄養学科	40名	-
生活科学部	生活デザイン学科	募集停止	-
	環境理学科	募集停止	-
大学院	看護学研究科 修士課程	15名	-
	人間生活学研究科 修士課程	18名	-
	健康生活科学研究科 博士後期課程	6名	-

I - 4. 学部の教育理念

食の多様化に伴う安全・栄養・健康に関する情報が氾濫するなか、食環境の整備に貢献し、健康・栄養教育に携わることのできる人材を養成する。また、社会構造の複雑な変化により、食の乱れが大きく影響し、国民全体の食習慣や食行動が多様化した。本学部・本学科は、このような現代社会の問題に対応しようとする食生活支援や外食・中食等のビジネスに対し、健康・栄養に関する専門的知識を理解し、提案できる人材を養成する。複雑化する少子・高齢化社会の進展に対応して、乳幼児期から青年期、壮年期、高齢期の生涯にわたって、健康の保持・増進のための栄養教育に貢献するための実践的な専門知識・指導力を養成する教育と研究を目的とする。増大する健康と栄養の関わりに積極的に取り組み、健康的な社会の構築に貢献できる教育と研究を目指すことを特徴とする。

また、人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成する。本学部は、学術の中心としての大学を意識し、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教育研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的としている。

～ 目指す管理栄養士像として ～

1. 今日、医療技術が進歩しただけではなく、疾病構造も大きく変化している。医療・福祉領域においては、これらの変化や個々の遺伝的素因に対応した栄養管理能力だけでなく、栄養・給食関連サービスのマネジメント能力も要求される。専門知識や技術、そして人間力を備え、管理栄養士の立場と役割を理解してチーム医療に貢献できる人材の育成を目指す。
 - ① 保健・医療・福祉に関する多様な専門領域の基本となる知識・能力を養う。
 - ② 構造変化する保健・医療・福祉制度を理解し、幅広い対象者に適切な助言ができる能力を養う。
 - ③ 健康の保持増進、疾患の一次、二次、三次予防のための栄養教育を行う能力を養う。
 - ④ チーム医療の重要性を理解し、多職種や患者とのコミュニケーションを円滑に進める能力を養う。
 - ⑤ 管理栄養士としての知識・技術・姿勢及び考え方の総合的能力を持ち、医療・福祉関連の従事者としてだけでなく、異業種従事者としても貢献できる能力を養う。

2. 在宅での栄養・食事管理指導者として貢献できる専門知識や技術のみならず人間力を備えた人材の育成を目指す。
 - ① 退院後の在宅治療者、障害者や高齢者に対しては、食事を楽しめる工夫を食材や調理の観点から取り入れ、食生活のレベルアップにより社会復帰を支援する技術を養う。
 - ② 介護にかかわるさまざまな職種の従事者や地域と情報を共有できる食介護実践者を養う。
 - ③ 加齢に伴う人体の構造と機能の変化について理解し、高齢者の自立や寝たきりの予防を目指した栄養・食事管理や食生活指導の技術力を養う。

3. 食環境の整備に対する理解力を持ち、健康・栄養教育に携わることのできる人材の育成を目指す。



II

健康栄養学部の教員構成

II. 健康栄養学部の教員構成

職名	氏名	専門分野 (科目区分)	主な担当科目
教授	植田 哲雄	臨床栄養学	臨床栄養学
教授	川村 美笑子	基礎栄養学、応用栄養学	栄養学
教授	佐藤 厚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学
教授	逸見 幾代	栄養教育論	栄養教育
教授	村上 尚	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造と機能
教授	渡邊 浩幸	食べ物と健康	食品学
教授	和田 安彦	社会・環境と健康	健康生態学・公衆衛生学
准教授	荒牧 礼子	公衆栄養学	公衆栄養学
准教授	清水 扶美	栄養教育論	学校栄養指導論Ⅰ・Ⅱ
講師	島田 郁子	給食経営管理論	給食経営管理
講師	西岡 道子	食べ物と健康	調理学
講師	廣内 智子	臨床栄養学	臨床栄養学臨地実習
講師	三木 章江	公衆栄養学	地域保健臨地実習
助教	古川 弘子	臨床栄養学	臨床栄養学実習
助手	彼末 富貴	専門基礎分野	調理学実習
助手	川村 真美	専門基礎分野	食品学実験
助手	沼田 聡	給食経営管理論	給食経営管理実習



III

健康栄養学部 of 教育課程

Ⅲ－１．カリキュラム

1 回生（平成22年度入学）対象 授業科目一覧

（基礎科目）

科目名
健康栄養学基礎
健康栄養学応用

（社会・環境と健康）

科目名
地域健康論
介護論
食と介護
保健医療福祉論
地域医療論
公衆衛生学
環境衛生学実習
健康情報論実習
こころと身体活動

（人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち）

科目名
生化学Ⅰ
生化学Ⅱ
生化学実験
人体の構造と機能Ⅰ
人体の構造と機能Ⅱ
臨床医科学
疾病論Ⅰ
疾病論Ⅱ
運動生理学
生体科学実験・実習

（食べ物と健康）

科目名
食品学
食品学実験
食材学
食品の栄養素と機能
食品衛生学
食品衛生学実験
フードシステム学
調理学

（食べ物と健康）

科目名
調理学実習Ⅰ
調理学実習Ⅱ
調理学実習Ⅲ
調理科学実験

（基礎栄養学）

科目名
基礎栄養学
基礎栄養学実験

（応用栄養学）

科目名
応用栄養学Ⅰ
応用栄養学Ⅱ
応用栄養学実習
ライフステージ栄養学

（栄養教育論）

科目名
栄養教育論Ⅰ
栄養教育論Ⅱ
栄養教育論Ⅲ
栄養教育論実習Ⅰ
栄養教育論実習Ⅱ
学校栄養指導論Ⅰ
学校栄養指導論Ⅱ

（臨床栄養学）

科目名
臨床栄養学Ⅰ
臨床栄養学Ⅱ
臨床栄養学Ⅲ
臨床実践栄養学
臨床栄養学実習Ⅰ
臨床栄養学実習Ⅱ

（公衆栄養学）

科目名
公衆栄養学Ⅰ
公衆栄養学Ⅱ
地域公衆栄養学実習

（給食経営管理論）

科目名
給食経営管理論
給食計画論
給食経営管理実習Ⅰ
給食経営管理実習Ⅱ

（総合演習）

科目名
管理栄養士総合演習Ⅰ
管理栄養士総合演習Ⅱ

（臨地実習）

科目名
給食経営管理臨地実習
臨床栄養学臨地実習Ⅰ
臨床栄養学臨地実習Ⅱ
地域公衆栄養学臨地実習
地域実践栄養学臨地実習

（関連科目）

科目名
生活経済学
生活経営学
家族関係論
保育学（実習及び家庭看護を含む）
衣生活学
服飾造形実習Ⅰ
服飾造形実習Ⅱ
住居学（製図を含む）
家庭機械・家庭電気

（その他）

科目名
企業実習

（課題研究）

科目名
卒業研究

2～4回生（平成19～21年度入学）対象 授業科目一覧

（学科基礎）

科目名	担当者
基礎生物科学	未開講
基礎栄養科学	未開講
基礎生物科学実験	未開講
数理統計学	谷本真二
医療統計学	渡邊浩幸・和田安彦
保健医療福祉論	田中きよむ（他学部）
健康環境情報論	未開講
健康環境情報論実習	未開講
人間生活環境論	川村美笑子
食品の消費と流通	前田幸二（非常勤）

（生体科学）

科目名	担当者
生化学Ⅰ	佐藤厚
生化学Ⅱ	佐藤厚
生化学実験Ⅰ	佐藤厚
生化学実験Ⅱ	佐藤厚
解剖生理学	未開講
人間病態論	村上尚
解剖生理学実験	村上尚
臨床検査医科学	和田安彦
病理学	村上尚

（栄養科学）

科目名	担当者
基礎栄養学	川村美笑子
基礎栄養学実験	川村美笑子
応用栄養学Ⅰ	川村美笑子
応用栄養学Ⅱ	川村美笑子
応用栄養学実験	川村美笑子
実践栄養学	島田郁子
臨床栄養アセスメント	植田哲雄
臨床代謝栄養学	植田哲雄
臨床栄養治療学	植田哲雄
臨床生理学	植田哲雄
臨床栄養学実習Ⅰ	植田哲雄
臨床栄養学実習Ⅱ	植田哲雄
臨床栄養学臨地実習Ⅰ	植田哲雄
臨床栄養学臨地実習Ⅱ	植田哲雄
栄養教育論	逸見幾代
栄養カウンセリング論	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅰ	逸見幾代
栄養教育論実習Ⅱ	逸見幾代
栄養情報処理論	荒牧礼子
総合演習（管理栄養士）	植田哲雄・逸見幾代・荒牧礼子・島田郁子
学校栄養指導論Ⅰ	逸見幾代・清水扶美・非常勤
学校栄養指導論Ⅱ	逸見幾代・清水扶美・非常勤

（食品科学）

科目名	担当者
基礎食品学	未開講
基礎食品学実験	渡邊浩幸
食品成分と疾病予防	渡邊浩幸
食品の栄養素と機能	渡邊浩幸

（食品科学）

食品の物性と機能	未開講
食品機能学実験	未開講
食品有機化学	小川正（非常勤）
食品有機化学実験	小川正（非常勤）
食品調理工学	未開講
食品調理工学実験	未開講
身近な毒と食品	渡邊浩幸・村上尚
食品衛生学実験	渡邊浩幸・村上尚
食品の鑑別	未開講

（食の実践学）

基礎調理学	未開講
調理科学	未開講
調理科学実験	西岡道子
基礎調理学実習	未開講
調理学実習Ⅰ	未開講
調理学実習Ⅱ	西岡道子
給食経営管理論	島田郁子
給食計画論	島田郁子
大量調理論	島田郁子
給食経営管理実習	島田郁子
給食実務実習	島田郁子
給食経営管理臨地実習	島田郁子

（健康科学）

運動生理学	大倉三洋（非常勤）
ライフサイエンス論	未開講
健康管理論	田口哲也（非常勤）
公衆栄養学	荒牧礼子
地域保健	未開講
地域栄養アセスメント	荒牧礼子
地域保健実習	荒牧礼子
地域保健臨地実習	荒牧礼子
こころと身体活動	網師本真季（非常勤）
食事介護実習	荒牧礼子・島田郁子

（関連科目）

生活経済学	井本正人（他学部）
生活経営学	井本正人（他学部）
家族関係論	岩倉秀樹・池添志乃・益守かづき（他学部）
保育学（実習及び家庭看護を含む）	北川明・宮上多加子（他学部）
衣生活学	松本由香（他学部）
服飾造形実習Ⅰ	松本由香（他学部）
服飾造形実習Ⅱ	松本由香（他学部）
住居学（製図を含む）	宇野浩三（他学部）
家庭機械・家庭電気	原絢子（非常勤）

（その他）

企業実習	学年担当教員
------	--------

（課題研究）

卒業研究	学科専任教員
------	--------

Ⅲ-2. 平成22年度時間割

健康栄養学部 健康栄養学科 時間割 <前期> 池キャンパス

全	1時限		2時限		3時限		4時限		5時限	
	教室	教員	教室	教員	教室	教員	教室	教員	教室	教員
全	8:40~10:10 英語コミュニケーション(2回生以上)	教室 掲示	10:20~11:50 英語コミュニケーション(1回生以上)	教室 掲示	12:50~14:20	教室	14:30~16:00	教室	16:10~17:40	教室
1	英語学	教室 掲示	英語学	教室 掲示	人間の構造と機能 I	教室 掲示	フードシステム学	教室 掲示	フードシステム学	教室 掲示
2		教室 掲示		教室 掲示	食品成分と疾病予防	教室 掲示	フードシステム学	教室 掲示	フードシステム学	教室 掲示
3		教室 掲示		教室 掲示	公衆栄養学	教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示	栄養実習	教室 掲示				
教職	学校栄養教育実習 G0042	教室 掲示	学校栄養教育実習 (実習)(家庭をむ)	教室 掲示	栄養実習	教室 掲示				
全	健康栄養学基礎	教室 掲示	健康栄養学基礎	教室 掲示	調理実習 I	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示	食品の栄養素と機能	教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示	食品実務実習 T1409	教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示	給食実務実習 T1409	教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示	大講義室	教室 掲示				
教職	健康スポート科学 I * 2 E3004	教室 掲示	健康スポート科学 I * 1 E3004	教室 掲示	日本国憲法 E1201	教室 掲示				
全	健康スポート科学 I * 2 E3004	教室 掲示	健康スポート科学 I * 1 E3004	教室 掲示	土佐の歴史とまちづくり E1002	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示	健康スポート科学 I * 3 E3004	教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示	生化学 II	教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示	臨床栄養学実習 I T1334	教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	生体指導論 G0015	教室 掲示	生体指導論 (衣生活学)	教室 掲示	教育カリキュラム開発論(教育課程論)	教室 掲示				
全	英語コミュニケーション(2回生以上)	教室 掲示	英語コミュニケーション(1回生)	教室 掲示	哲学入門 E1103	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示	現代社会論 E1212	教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	コンピュータリテラシー * 1 E2003	教室 掲示	コンピュータリテラシー * 1 E2003	教室 掲示	栄養教育実習 I T1337	教室 掲示				
全	科目名義	教室 掲示	科目名義	教室 掲示	栄養教育実習 I T1337	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	コンピュータリテラシー * 2 E2003	教室 掲示	コンピュータリテラシー * 2 E2003	教室 掲示	栄養教育実習 II T1414	教室 掲示				
全	科目名義	教室 掲示	科目名義	教室 掲示	基礎栄養学	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示	基礎栄養学	教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示				
教職	基礎栄養学	教室 掲示	基礎栄養学	教室 掲示	臨床栄養学実習 II T1609	教室 掲示				
全	科目名義	教室 掲示	科目名義	教室 掲示	臨床栄養学実習 II T1609	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				
全	科目名義	教室 掲示	科目名義	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				
全	科目名義	教室 掲示	科目名義	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				
全	科目名義	教室 掲示	科目名義	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				
1		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
2		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
3		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
4		教室 掲示		教室 掲示		教室 掲示				
教職	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学	教室 掲示	臨床栄養学実習 III T1610	教室 掲示				

* 1 看護学部対象 * 2 社会福祉学部対象 * 3 健康栄養学部対象
教科教育法は学年で対応

平成22年度 健康栄養学部 健康栄養学科 時間割 <後期> 池キャンパス

月	1時間		2時間		3時間		4時間		5時間		
	8:40~10:10	10:20~11:50	10:20~11:50	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40	教員	教員	教員	教員	
全	英語コミュニケーション(2回生以上)	英語コミュニケーション(1回生)	英語コミュニケーションII	生化学I T1201							
1	応用栄養学I T1315	A306									
2											
3											
4											
教職											
全											
1	健康栄養学応用 T1123	A318									
2	給食計画論 T1511	A104 試食室I									
3	栄養カウンセリング論 T1327	A303									
4											
教職											
全											
1	保健医療福祉論 T1127	A219									
2											
3											
4											
教職											
全											
1	英語コミュニケーション(2回生以上) 女性の生活と健康 E1013	掲示 掲示 A306	英語コミュニケーション(1回生) 英語コミュニケーションIII	倫理学E1101 文学の世界E1109	A306 A305	奥原 名和 オムニバク(学生)	日本国の表現技術E1108 情報処理概論E2002 生活の中の化学E1309	A306 A305 大講義室	物理の考え方E1303 情報処理概論E2002 健康スポーツ科学II*3 E3005	原 名和 野田	A306 A305 体育館
2											
3											
4											
教職											
全											
1	健康情報論実習 T1131										
2	総合演習(管理栄養士)T1339	和田・逸見・荒牧・島田									
3											
4											
教職											
全											
1											
2											
3											
4											
教職											
全											
1											
2											
3											
4											
教職											

*1 看護学部対象 *2 社会福祉学部対象 *3 健康栄養学部対象
 教科教育法は学科で対応

Ⅲ－３．学生の研究

平成22（2010）年度 卒業研究題目

- 高脂肪負荷食マウスに対する柑橘系フラボノイドの効果
- 高脂肪食負荷マウスに対する発芽玄米由来植物ステロール配糖体の効果
- 魚の各種リン脂質の分画と脂肪酸組成分析
- 豚肉を用いた肉軟化調味料および食肉品質改良剤の比較検討
 - － 給食施設における導入のための基礎的研究 －
- SDS 電気泳動法による節類の原料魚種の同定
- 真空調理における鮮魚の水分含量及びビタミン B₁₂ 含量
- 各種加熱調理が鯖のビタミン B₁₂ 含量に及ぼす影響
- ウォーターオープン加熱が鯖のビタミン B₁₂ 含量に及ぼす影響
- う歯の予防に有効な食生活と食品利用法の検討
- 特定給食施設における紫外線殺菌灯の使用に関する調査
- 女子大生における摂食障害の実態調査と対処法の検討
- マウスにおけるゼロカロリー甘味料の摂水と生体の栄養要求
- 人間活動に伴う環境の変化が食品の質と安全性に及ぼす影響に関する研究
 - － 第1報 食品成分の経時的変化について －
- 濃厚流動食と食物アレルギー疾患について
- スリムキャンプにおける肥満度改善のための効果的な働きかけ
- Web 上における食物アレルギーに関する情報の検討
- 弁当料理レシピから見る野菜の摂取状況に関する考察
- 料理書籍出版数の年次推移から見た食の変遷に関する考察

Ⅲ-4. 学外実習先一覧

平成22（2010）年度学外実習先一覧

種 類	実 習 名	実 習 先	実習期間	実習生 (名)
栄養教諭	学校栄養教育実習	高知市立 高須小学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	2
		南国市立 後免野田小学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	2
		南国市立 国府小学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	2
		香南市立 赤岡小学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	2
		香南市立 野市小学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	2
		本山町土佐町中学校組合立 嶺北中学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	1
		高知県立 高知江の口養護学校	平成22年 6月7日(月)～ 6月18日(金)	1
臨地実習 (公衆栄養)	地域保健臨地実習	須崎福祉保健所	平成22年8月30日(月)～ 9月3日(金)	5
		中央西福祉保健所	平成22年 8月30日(月)～ 9月 3日(金)	5
		安芸福祉保健所	平成22年 9月 6日(月)～ 9月10日(金)	5
		中央東福祉保健所	平成22年 9月 6日(月)～ 9月10日(金)	5
臨地実習 (給食経営管理 給食の運営 臨床栄養)	給食経営管理臨地実習	高知医療センター	平成23年 2月14日(月)～ 2月18日(金)	20
	臨床栄養学臨地実習Ⅰ		平成23年 2月21日(月)～ 2月25日(金)	
	臨床栄養学臨地実習Ⅱ		平成23年 2月28日(月)～ 3月 4日(金)	



IV

学生の記録

Ⅳ－１．学生定員および出身県別在籍学生数

出身地	1回生(定員40名)	2回生(定員20名)	3回生(定員20名)	4回生(定員20名)	計
	2010年度入学生	2009年度入学生	2008年度入学生	2007年度入学生	
北海道		1			1
群馬	1				1
千葉		1			1
新潟				1	1
富山		1			1
石川	1				1
岐阜				2	2
静岡	2				2
愛知	1	1			2
三重	1			1	2
大阪			1		1
兵庫	4	1	1	2	8
和歌山	2		1		3
鳥取	1		1		2
島根	1		1	1	3
岡山		1			1
広島	1	2		1	4
山口	1	1			2
徳島	1	2	3		6
香川	1	1	1	1	4
愛媛	3	1	2	1	7
高知	11	5	7	4	27
福岡	1		2	1	4
佐賀		1			1
熊本	1	1		1	3
大分	1				1
宮崎	1	2	1	3	7
鹿児島	1				1
沖縄	3			1	4
計	40	22	21	20	103

IV-2. 入試状況の概要

平成21（2009）年度入試まで

（単位：名）

区分	募集 人数	内訳	平成19年			平成20年			平成21年		
			志願者数	合格者数	合格率	志願者数	合格者数	合格率	志願者数	合格者数	合格率
推薦	4	全体数	17	4	4.3	20	4	5	13	4	3.3
		(県内)	(17)	(4)	-	(20)	(4)	-	(13)	(4)	-
一般	16	全体数	76	18	4.2	51	19	2.7	57	20	1.9
		(県内)	(7)	(0)	-	(8)	(3)	-	(7)	(1)	-
		(県外)	(69)	(18)	-	(43)	(16)	-	(50)	(19)	-
計	20	全体数	93	22	4.2	71	23	3.1	70	24	2.9
		(県内)	(24)	(4)	-	(28)	(7)	-	(20)	(5)	-
		(県外)	(69)	(18)	-	(43)	(16)	-	(50)	(19)	-

平成22（2010）年度入試以降

（単位：名）

区分	募集人数	内訳	平成22年			平成23年		
			志願者数	合格者数	合格率	志願者数	合格者数	合格率
推薦	県内10 県外5	全体数	87	16	5.4	94	15	6.3
		(県内)	(21)	(10)	(2.1)	(33)	(10)	(3.3)
		(県外)	(66)	(6)	(11.0)	(61)	(5)	(12.2)
一般	25	全体数	85	28	3.0	105	29	3.4
		(県内)	(11)	(1)	－	(17)	(9)	－
		(県外)	(74)	(27)	－	(88)	(20)	－
計	40	全体数	172	44	3.9	199	44	4.5
		(県内)	(32)	(11)	－	(50)	(19)	－
		(県外)	(140)	(33)	－	(149)	(25)	－

* 健康栄養学部昇格に伴い、平成22（2010）年度入試より、定員が40名となりました。

アドミッションポリシー

健康栄養学部は、人間や健康、環境の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探求し、人々が健康に生活できるよう幅広い分野で貢献できる人材を養成することを目的としています。健康栄養学部では、この目的の達成のため、次のような人を求めています。

1. 人間や健康、環境そして「食」に対して興味・関心の持てる人
2. 社会の一員であることを自覚し、他人の立場に立って考えることができる人
3. 物事に主体的かつ積極的に取り組む姿勢をもつ人
4. コミュニケーション能力がある人

IV-3. 卒業生の進路状況（就職状況）の概要

進路状況

(単位：名)

	平成18(2006)年度	平成19(2007)年度	平成20(2008)年度	平成21(2009)年度	平成22(2010)年度
卒業生数	23	23	21	21	20
就職	23	21	19	19	19
進学等	0	大学院 2	大学院 1	大学院 2	大学院 1
その他	0	0	1	0	0

就職状況

平成17年度から過去5年間は、就職決定率100%です。管理栄養士の資格を生かした病院栄養士や給食施設、栄養教諭、福祉の仕事だけでなく、食料品製造、ドラッグストアなど様々な職種に就いています。

(単位：名)

	平成21年度		平成22年度	
栄養士・管理栄養士	病院栄養士	5	病院栄養士	5
	栄養教諭	4	栄養教諭	2
	委託栄養士	3	委託栄養士	1
	行政栄養士	1	福祉栄養士	2
	短期大学助手	1	—	—
その他の職業	食品製造	2	食品製造	2
	薬局	1	薬局	1
	飲食業	1	営業・販売	4
	販売	1	医薬情報担当者 (MR)	1
	—	—	社会保険、産業福祉、 介護事業	1

IV-4. 国家試験の合格状況（平成22年度）

■第25回管理栄養士国家試験

実施日：平成23年3月20日(日)

合格発表：平成23年5月9日(月)

	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
全国(全体)	19,923	8,067	40.5
全国(管理栄養士養成課程・新卒)	7,702	6,320	82.1
本学(新卒)	20	16	80.0

■国家試験対策（平成22年度の活動内容一覧）

4月	国家試験対策学習室を本部・健康栄養学部棟（A313）に設置 模擬試験実施日の案内 「管理栄養士のたまご達へ」を不定期発行
5月	合格発表に合わせて、手続き関連の連絡 合格率の公表
6月	模擬試験の開催：Intermedical [かんもし]（第1回目）
7月	模擬試験の開催：RDC 管理栄養士センター（第1回目） 日本医歯薬研修協会（第1回目）
8月	模擬試験の開催：メディカ RD（第1回目）
9月	模擬試験の開催：日本医歯薬研修協会（第2回目）
10月	模擬試験の開催：Intermedical [かんもし]（第2回目）
11月	模擬試験の開催：RDC 管理栄養士センター（第2回目） 日本医歯薬研修協会（第3回目）
12月	模擬試験の開催：メディカ RD（第2回目） 国家試験対策講座
1月	模擬試験の開催：RDC 管理栄養士センター（第3回目） 日本医歯薬研修協会（第4回目） 国家試験対策講座 国家試験受験願書記入説明会 個別相談
2月	模擬試験の開催：Intermedical [かんもし]（第3回目） 国家試験対策講座 個別相談
3月	直前サポート

IV-5. 学生を中心とした活動

高知県小児糖尿病生活指導講習会サマーキャンプに参加して

3回生 竹村 仁美

私は、2010年8月14日～8月18日の4泊5日の日程で行われた第21回高知糖尿病サマーキャンプに学生ボランティアとして参加しました。このサマーキャンプは、1型糖尿病（膵臓の β 細胞が破壊されて体内でインスリンが製造できなくなり、生命維持のために外部からのインスリン注射が必須）を持つ子どもが、自分の生活に合ったインスリン補充方法を学び、身につける機会として、毎年夏に開催されています。今回、私の参加は去年に引き続き2回目の参加でした。キャンプの間は天候にも恵まれ、楽しい5日間を過ごすことができました。子どもたちは、毎年続けて参加している子どもが多いので、去年会った子どもたちに再び会うことができ、うれしかったです。私たち学生ボランティアの役割は、1. キャンプに参加している子どもたち（以下、キャンパー）の安全を守ること、2. 行事の運営・進行をサポートすること、3. 医療スタッフの活動をサポートすることでした。元気に遊びまわっているキャンパーが疲れなどから低血糖になることもあるので、一緒に遊んでくれるお兄さん・お姉さんだけにならないように気をつけました。また、キャンパーの食事を観察し、食事がバランスよく食べられているか、食事のマナーは悪くないか、というところにも注目しました。このキャンプでの、医療スタッフの皆さん、MR（医薬情報担当者）さん、他大学の学生さんとの交流を通し、進路等について、これからの学生生活について新しい考えが生まれたと思います。



食事前の準備の様子（左）と、食後には子供たちが食べた食事量の記録（右）



どんな栄養素が血糖をどれくらい上げるのか、勉強会の開催（左）と、オリエンテーションでゲーム企画の担当（右）

親子でスリムキャンプに参加して

3回生 中島 伊織

体重が気になる児童とその保護者を対象にした「親子でスリムキャンプ」(医療法人治久会もみのき病院主催)が、2010年7月24、25日の1泊2日の日程で、香美市中央公民館と香北青少年の家で開催されました。健康栄養学科からは学生14名がボランティアスタッフとして参加しました。スリムキャンプは、主に小中学生の子どもたちを対象とした1泊2日のキャンプです。保護者の方と一緒に調理実習を行い、ボリュームたっぷりでカロリーは控えめの献立を作ったり、子どもたちと遊びながら楽しく運動して、子どもたちの肥満の予防・改善を目的としたもので、私は学生スタッフとしてこのキャンプに参加しました。キャンプに参加するにあたり、事前に小児肥満に関する講演会を聴きに行ったり、学生同士で小児肥満と運動・食事などについて調べ、発表し合うことで、キャンプに向けての知識を身に付けることができました。キャンプでは、食事の際に子どもたちにお腹いっぱいになる食べ方のアドバイスをしたり、保護者の方々の前で少しの工夫でカロリーを抑えることができる方法を発表したり、日頃の大学生活での授業や、キャンプ前に行った勉強会での知識を実践的に活かすことができ、普段の大学生活ではできない様々な経験をすることができました。また、子どもたちと一緒に遊びながら体を動かしたり、一緒に食事をしながら話をしたりすることで自分自身もリフレッシュすることができました。今回、ボランティアとしてこのキャンプに参加しましたが、自分自身も成長できるとてもよい機会になったと思います。今後も機会があればまた参加しようと思っています。



体育館で、300kcalの消費を目標に、楽しみながらの様々な運動



保護者の方の調理実習は、夏野菜をふんだんに使ったスープカレー作り

子育て応援団 -すこやか2010- に参加して

3回生 三好 翔子

2010年7月24、25日、高知ちばさんセンターにて RKC 高知放送主催の「子育て応援団-すこやか2010-」が開催されました。私たちは、食育キッチンのコーナーに参加し、高知野菜のナス、ピーマンを取り入れた「高知野菜のカレーホットサンド」やパンみみを使った「3色パンみみラスク」を子どもたちと一緒に作ることで、子どもたちに料理を楽しく体験してもらいました。また、キッズランドでは、「早ね早おき朝ごはん」の紙芝居を上演し、生活リズムの大切さをお話しました。参加するにあたって、「高知野菜を使い、子どもたちが楽しく作れるメニューはなにか」、「子どもたちにどうやって説明したらわかりやすいか」など、みんなで話し合い、当日を迎えました。子どもたちに楽しんでもらえるか、期待と不安を持って迎えた当日、準備中のブースの前には、たくさんの親子連れが列をつくっていました。お母さんに抱っこされた小さな子どもから小学生が、笑顔で次々に足を運んでくれました。中には、お母さんだけが来て、「レシピちょうだい」と言ってくださることも。最初は戸惑いのなか、子どもたちと接していましたが、次第に一緒に料理をすること、話をすることがとても楽しく感じました。そして、子どもたちに楽しく体験してもらうことが目的だったはずなのに、子どもとの接し方、子どもの持つ食への興味・知識、両親の食への関心など、自分の方が多くのことを感じ、学ばせてもらった気がします。楽しさを通じて食育をする大切さと共に、食を子どもたちに伝える難しさと楽しさを実感しました。子どもと接すること、親子への食教育について、より一層関心がわくきっかけとなったこのイベントへの参加は、私にとって将来へとつながる経験の一つとなりました。



高知野菜のカレーホットサンド



「3色パンみみラスク」を一緒に作成



生活リズムの大切さを教える紙芝居



最後にみんなで記念撮影

お弁当開発プロジェクトに参加して

3回生 田中 文美

私たち健康栄養学科3回生は、地元量販店で販売するお弁当の開発プロジェクトに参加しました。「自分たちが食べたいお弁当」というコンセプトで、メニューを考え、管理栄養士を目指す学生として、栄養のバランスや味付けなどにも気を配りながら試作を行いました。おかずの1つ1つに工夫を凝らした試作品が出来上がり、量販店の担当の方にも試食して頂きました。その際、担当の方から、調理上の手間などを考慮するとその試作品をそのまま商品化することは難しいとのご意見をいただき、メニューを練り直すことになり、ニーズとコストのバランスを考えなければならないということ学びました。その後もさらに協議を重ね、お弁当の容器や盛り付けなどを決め、ついに量販店と私たち健康栄養学科3回生とのコラボ弁当が出来上がりました。“栄養サポート弁当”として和食と洋食の2種類を販売しました。自分たちが作り上げたお弁当が、店頭で並んでいるのを見たときの気持ちは今も忘れられません。今回、このプロジェクトに参加して、1つの商品を市場に出すには、さまざまな苦労があることを身をもって実感し、大学の講義では学ぶことのできない多くのことを学ぶことができました。

今後も、このような活動を後輩の皆さんにも引き継いでもらい、多くのことを学んでほしいと思います。



和風サポート弁当



洋風サポート弁当



私たちが提案しました



試作品

「鍋コレ55選」のレシピ考案に参加して

3回生 川越 朱

「女子大生の考えた鍋のレシピを載せよう」と始まった鍋レシピ考案の企画は、スーパーの店頭にて配布する小冊子に掲載するためのものとして、地元の量販店からお誘いを受けて実現したものです。まずは、地元量販店の担当者の方から本企画の趣旨を説明していただき、それに見合った鍋についてイメージを話し合うことから始めました。「高知の食材を使うこと」、「出汁にジュースを加えてみてはどうか」、「ネーミングも大切」等々、大まかな鍋の方向性を決めました。今回の鍋の企画に関わらず愉快的なアイデアが次々と膨らみ、それを形にしていく過程はとても楽しい作業でした。次に、鍋のレシピを実際に調理しながら仕上げる作業を行います。出汁の分量、調味料や食材の分量を変えて試作し、最も作りやすく、美味しいものをレシピとして完成させます。もちろん美味しさも重要ですが、一般家庭の台所にある身近な調味料で作れるということも大切です。このような経験は授業内ではなかなか出来ないものなので、大変貴重な経験だったと思っています。また、今回は量販店内でお料理教室もさせていただきました。男性の参加率も高く、一般の方に作り方や栄養の話をさせていただき、分かりやすい説明とはどのようなものなのか実地で学ぶことが出来ました。何もないところから、アイデアを練って作り上げていく過程は大変難しいものですが、たくさんの方と意見を交わしお話をさせていただくことで、将来の管理栄養士として働く自身の姿を想像し、とても良い刺激をもらいました。



“柚子れないはちきん鍋”



“生姜がミソ鍋”



“かつおも泳ぐ熱々鍋”



“魔法のスパイス鍋”



量販店店内での試食提供



料理教室キッチンプラスでの講師役

高知市中央卸売市場でのおさかな料理教室に参加して

2回生 岩崎 歩美

2010年10月2日、高知県が主催する「高知はおさかな天国キャンペーン」の一環として、高知市中央卸売市場の市場開放デイ（毎月第1土曜日）で行われる親子料理教室を健康栄養学科2回生が担当しました。参加のきっかけは、友人から市場で魚の献立をアピールする料理教室があるから参加してみないかという誘いに興味を持ったことでした。最初の料理教室は、準備の時間が少なく、レシピも先生の力を借りて作り、なんとか無事にやりとげることができました。この1回目の料理教室で、人に教えるには事前の準備をしっかりとしないといけないということを実感しました。準備等大変だった反面、参加して下さった方々から「美味しかった、楽しかった」という感想や「魚を使って家でも料理してみたい」と言った意見を頂けたことで、また料理教室に参加したいと思いました。次はもっと上手く教えられるようになりたいと思いながら、その後の料理教室にも参加しました。参加するたびにもっとここはこうした方がよかった、ここはこうするべきだったと反省し、次へつなげていくことができ、自分の勉強になりました。参加してくれた子どもたちがみんな楽しそうに料理をしてくれたり、美味しいといって料理を食べてくれたりするのを見て、自分も参加して本当によかったと思いました。この経験をまた違うところで活かすことができるよう、日々の勉強に取り組んでいきたいと思っています。



料理教室での様子



魚をつかった献立



食事風景

ひろめ市場でのクリスマスチャリティーに参加して

2回生 渡邊 舞

商店街で楽しいひと時を過ごしてもらおうと、中心商店街で清掃や観光案内などのボランティア活動をしている高知女子大学エスコーターズ主催「エスコからの SP (スペシャル) ミッションX'mas 大作戦2010～土佐の魅力を探せ～」が、2010年12月23日ひろめ市場で開催されました。私が今回参加させていただいたひろめ市場でのクリスマスチャリティーは、高知女子大学に入学する前からやりたかったことのひとつでした。私が初めてクリスマスチャリティーのことを知ったのは、高知女子大学のホームページでの記載がきっかけでした。昔から料理やお菓子を作ることが好きでしたが、自分たちで考えて作ったお菓子を販売できて、その売り上げを全額ユニセフ等に寄付できるという素晴らしい企画に憧れてこの大学に入りたいという気持ちが高まりました。クリスマスチャリティーに参加したのは今回で2回目でしたが、1回生のときは主に3回生の先輩方を中心にお菓子を作り、ひろめ市場で販売しました。そのときから次回のことも見据えて、先輩と共にひろめ市場の打ち合わせにも参加させていただいてました。そして、今回代表という形でチャリティーに参加させていただき、1回生のときとはまた違った経験をさせていただきました。何度もひろめ市場の担当の方と打ち合わせをし、材料の買い出しや授業の合間での試作など大変なこともたくさんありましたが、一緒にチャリティーに参加してくれた友人や後輩と共に本当に楽しく準備をすることができました。今回、私たちはシュークリームを販売させていただきましたが、前日の生地作りのときにシュー生地が膨らまず、朝から夜8時過ぎまで作り続けるというハプニングもありました。しかし当日はたくさんの方に買っていただき、思ったよりも早く完売することが出来ました。一人では決して経験することの出来ない経験をさせて下さったひろめ市場の皆さんや、最後まで一緒に頑張ってくれた友人や後輩、色々とアドバイスをしてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



シュークリーム作り



ひろめ市場での販売の様子



V

**教員の教育・研究・
地域貢献活動**

I. 教育活動

【学部】

- 臨床栄養学 I
- 臨床栄養学 III
- 臨床栄養学実習 I
- 臨床栄養学実習 II
- 臨床栄養学臨地実習 I
- 臨床栄養学臨地実習 II
- 総合演習（管理栄養士）（オムニバス）
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 委員会活動

1. 人権委員
2. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）
3. 管理栄養士国家試験対策委員（学部）
4. 臨地実習委員（学部）
5. 学部運営委員（学部）

I. 教育活動

【学部】

- 生命の科学（オムニバス）
- 人間生活環境論
- 基礎栄養学
- 基礎栄養学実験
- 応用栄養学 I
- 応用栄養学 II
- 応用栄養学実験
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座
- 栄養学（看護学部）

【大学院 人間生活学研究科（修士課程）】

- 人間生活健康福祉論
- 人間生活論演習 I
- 人間栄養学 II
- 生活科学特別研究

【大学院 健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- 栄養生理論
- 生活科学特別研究 I
- 生活科学特別研究 II
- 生活科学特別研究 III

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 片山一男, 渡邊慶子, 川村美笑子: アミノ酸スケールによる慢性腎不全患者の低タンパク食の評価, 微量栄養素研究, **27**, pp. 97-102 (2010).
- (2) 松井慶子, 島田郁子, 隅田有公子, 池上佳奈子, 竹内舞, 萬條裕乃, 桧田千裕, 中島玉恵, 道順比紗子, 川村美笑子: *In vitro* とろみ調整食品の消化に係る基礎的研究, 微量栄養素研究, **27**, pp. 109-113 (2010).
- (3) 島田郁子, 川村美笑子: 断食による眠気の変化と生活習慣との関連～日本人の「生活リズムの変化と生活習慣病」に係るアセスメントへの応用を目指して～, 日本微量栄養素研究, **27**, pp. 103-108 (2010).

2. 学会発表

- (1) 徳広千恵, 北村和子, 川村美笑子: 高知県の学校給食における地場産物活用状況について, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).

3. その他

【報告書】

- (1) 学長裁量経費特別調査研究プロジェクト報告書 “健康長寿と人間尊厳のまちづくり・高知” 「高知県で展開する地域マネジメントシステムに関する研究」(研究代表者: 川村美笑子)

III. 委員会活動

1. 大学院課程長
2. 大学運営委員
3. 高知女子大学法人化移行準備委員
4. 高知県立大学公立大学法人化検討委員
5. 高知女子大学認証評価 WG

6. 高知女子大学研究倫理審査委員
7. 健康長寿出前講座準備委員
8. 高知医療センター包括協定締結委員
9. 学部運営委員（学部）
10. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員・査読委員
2. 日本医学看護学教育学学会評議員
3. 日本微量栄養素学会評議員
4. 日本健康・栄養システム学会評議員・評価委員・編集委員
5. ビタミンC研究委員会委員
6. 社団法人全国栄養士養成施設協会全国常任理事
7. 社団法人日本栄養士会全国研究教育栄養士協議会理事
8. 高知産業保健推進センター特別委員
9. 高知県農林業基本対策審議会特別委員
10. 高知県食の安全・安心推進協議会委員

【出前講座】

1. 高知女子大学健康長寿出前講座（いの町），2010年1月13日

【講演】

1. 「確かな子育て－脳と栄養－」向陽小学校人権研修会，2010年10月
2. 産業保健セミナー「食事の質」「生活リズム」と命の営み，高知県産業保健推進セミナー，2010年2月，2010年12月，2011年2月
3. 大学出前講座 講師，中村高等学校，2011年1月

【新聞記事等】

1. 2011年2月から月1回連載（継続中）タイトル：『川村教授の「食事を自分の頭で考える大切さ」』高知新聞K+

【非常勤講師】

1. 高知大学医学部 看護学科「食生活論」（2010年10月～12月）
2. 高知大学教育学部「食物学概論」（2009年10月～2010年2月）

V. 研究助成

【学外】

1. 独立行政法人科学技術振興機構JST21年度シーズ発掘試験 研究課題名：「ストレスが惹起する疲労を予防する食品の開発」（代表者：川村美笑子）

【学内】

1. 学長特別枠
研究課題名：「高知県で展開する地域ケアマネジメントシステムに関する研究」（代表者：川村美笑子）

I. 教育活動

【学部】

- 生化学 I
- 生化学 II
- 応用栄養学
- 生化学（看護学部）
- 生化学実験

【大学院 人間生活学研究科（修士課程）】

- 人間生活情報論
- 健康栄養論 I
- 課題研究演習

【大学院 健康生活科学研究科（博士後期課程）】

- 臨床栄養論
- 生活科学特別研究 I
- 生活科学特別研究 II
- 生活科学特別研究 III

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 元吉明, 明崎禎輝, 津野良一, 濱窪隆, 福島美鈴, 谷岡博人, 野村卓生, 佐藤厚: 地域高齢者の運動行動を促す運動プログラムの考案 - 安芸の元気体操の効果 -, 理学療法科学, **25**(5), pp. 791-795 (2010).
- (2) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 河野淑子, 大山幸綱, 荒牧礼子, 佐藤厚: 救急活動記録票における転倒・転落記録状況の調査, 日本公衛誌, **57**(4), pp. 305-309.
- (3) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 大山幸綱, 佐藤厚: 救急搬送記録を用いた転倒・転落記録状況の調査 - 発生場所および発生時期の検討 -, 日本公衛誌, **57**(5), pp. 403-409 (2010).
- (4) 野村卓生, 佐藤厚: メッセージバナーを用いた健康増進領域への挑戦*, 理学療法学, **37**(8), pp. 529-532 (2010).
- (5) Yoshinobu Yoshimoto, Yukitsuna Oyama, Katsumi Hamaoka, Susumu Yoshimura, Toyotoshi Hashimoto, **Atsushi Sato: An Examination of the Physical, Psychological and Social Factors Associated with Housebound Living in Community-Dwelling Stroke Patients**, J. Phys. Ther. Sci. **22**, pp. 381-385, (2010).
- (6) 東大和生, 明崎禎輝, 野村卓生, 佐藤厚: 小児喘息患者における教育現場での施策状況 - 教育委員会を対象とした調査研究 -, 高知県理学療法, **17**, pp. 47-51 (2010).

III. 委員会活動

1. 健康栄養学部長
2. 大学運営委員
3. 高知女子大学法人化移行準備委員
4. 高知県立大学公立大学法人化検討委員
5. 高知女子大学認証評価WG
6. 高知女子大学研究倫理審査委員
7. 高知医療センター包括協定締結委員

8. 学部運営委員（学部）
9. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人全国栄養士養成施設協会評議委員
2. 高知県よさこい健康プラン策定委員

I. 教育活動

【学部】

- 栄養教育論
- 栄養カウンセリング論
- 栄養教育論実習 I
- 栄養教育論実習 II
- 学校栄養指導論 I (オムニバス)
- 学校栄養指導論 II (オムニバス)
- 学校栄養教育実習 (オムニバス)
- 総合演習 (管理栄養士) (オムニバス)
- 卒業研究

II. 研究活動

1. 著書

- (1) 藤沢良知編, 逸見幾代他: 総合調理用語辞典, pp. 100-130 (2010), 全国調理師養成施設協会, 東京.
- (2) 市丸雄平, 岡純編, 逸見幾代他: マスター改訂応用栄養学, pp. 1-13, pp. 104-125 (2010), 建帛社, 東京.
- (3) 鈴木道子, 逸見幾代編: マスター改訂臨床栄養学, pp. 21-34, pp. 84-90, pp. 190-195 (2010), 建帛社, 東京.
- (4) 逸見幾代, 津田とみ編: 改訂臨床栄養学実習 - 栄養補給マネジメント実務 -, pp. 1-23, pp. 107-116 (2011), 建帛社, 東京.

2. 論文

- (1) 坂口名菜, 山下義昭, 森政博, 逸見幾代: 女子学生における牛乳の脂肪量による食後高血糖抑制効果の検討, 栄養学雑誌, **67**(1), pp. (2010).
- (2) 坂口名菜, 村田薫, 森政博, 逸見幾代: 野菜を一緒に食べる 糖尿病診療マスター, **8**(3), pp. 291-294 (2010).
- (3) 西村栄恵, 逸見幾代: 青年成人期にある若年者の食生活調査 - 食育手法を検討するために - 松山東雲短期大学研究論集, **41**, pp. 59-66 (2010).

3. 学会発表

- (1) 逸見幾代, 越智泉, 斉藤功: 地域における健康づくりと保健事業からみえる食習慣と生活習慣病の関連と予防について, 第57回日本栄養改善学会, (埼玉 2010).
- (2) 西村栄恵, 逸見幾代, 江田節子: 青年成人期にある若年者の食生活調査 ~ 食育手法を検討するために ~, 第57回日本栄養改善学会, (埼玉 2010).
- (3) 江田節子, 笹谷美恵子, 逸見幾代: 幼児を持つ保護者の過去の食体験と食教育観の検討, 第57回日本栄養改善学会, (埼玉 2010).

Ⅲ. 委員会活動

1. 学生委員
2. キャリアセンター委員（2010年度）
3. 学部運営委員（学部）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本栄養改善学会評議員
2. 愛媛県食の安全安心推進県民会議委員
3. 松山市学校給食運営委員会委員
4. 松山市社会教育委員
5. 産業技術評価専門部会委員
6. 特定健診保健指導 東温スタディー運営委員
7. 東温市食育推進計画策定委員
8. 家庭料理技能検定委員
9. 学部運営委員

I. 教育活動

【学部】

- 人体の構造と機能 I
- 人体の構造と機能 II
- 臨床生理学
- 病理学
- 人間病態論
- 健康栄養学基礎 (オムニバス)
- 身近な毒と食品 (オムニバス)
- 食品衛生学実験 (オムニバス)
- 解剖生理学実験
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 委員会活動

1. 総合情報センター運営委員
2. 学部運営委員 (学部)

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本肥満学会評議員
2. 日本糖尿病学会会員
3. 日本生化学会会員
4. 日本分子生物学会会員
5. 学部運営会員 (学部)

【講演】

1. 津野町連携教育の会「睡眠と食欲, 肥満」講師, 2010年8月27日

【その他】

1. 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会特別講演 座長, 2010年11月6日

I. 教育活動

【学部】

- 食品学
- 身近な毒と食品（オムニバス）
- 食品成分と疾病予防
- 食品の栄養素と機能
- 基礎食品学実験
- 食品学実験
- 食品衛生学実験（オムニバス）
- 医療統計学（オムニバス）
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

【大学院人間生活学研究科（修士課程）】

- 人間生活論演習 I
- 食品総合科学論

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男, 渡邊浩幸: 炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出液の影響, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 13-21 (2011).
- (2) Naohiro Gotoh, Yumiko Matsumoto, Toshiharu Nagai, Hoyo Mizobe, Ikuko Otake, Kenji Ichioka, Ikuma Kuroda, Hiroyuki Watanabe, Noriko Noguchi and Shun Wada, Actual ratios of triacylglycerol positional isomers consisting of saturated and highly unsaturated fatty acids in fishes and marine mammals, *Food Chemistry*, **14**(2), pp. 467-472 (2010).

2. 学会発表

- (1) 渡邊浩幸, 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 喜瀬光男, 臼杵靖剛, Robert K. Yu: 発芽玄米に含有する植物ステロール配糖体画分の高脂肪食負荷マウスに及ぼす影響, 第64回日本栄養・食糧学会大会, (徳島 2010).
- (2) 野中翔太, 川村真美, 奥原康英, 喜瀬光男, 臼杵靖剛, Robert K. Yu, 渡邊浩幸: 発芽玄米由来植物ステロール配糖体 (PSG) が老化促進マウス (SAMP8) の行動に及ぼす影響, 第64回日本栄養・食糧学会大会, (徳島 2010).
- (3) C. Iwasa, M. Kawamura, S. Nonaka, Y. Okuhara, M. Kise, S. Usuki, Robert K. Yu, H. Watanabe: Effect of pre-germinated brown rice derived steryl-glucoside on high-fat-fed mice, Bioactive Okayama 2010 The Sixth Symposium on Food and Nutrition Research in East Asia and the Surrounds, Japan, August 11-12, (Okayama 2010).
- (4) S. Nonaka, C. Iwasa, M. Kawamura, Y. Okuhara, M. Kise, S. Usuki, Robert K. Yu, H. Watanabe: Effect of pre-germinated brown rice derived steryl-glucosides (PSG) on senescence-accelerated mice (SMAP8), Bioactive Okayama 2010 The Sixth Symposium on Food and Nutrition Research in East Asia and the Surrounds, Japan, August 11-12, (Okayama 2010).
- (5) 渡邊浩幸, 川村真美, 戸本好美, 後藤直宏, 和田俊: 低温乾燥ニンニクの抗酸化能とマウスの脂質代謝に及ぼす影響, 日本脂質栄養学会第19回大会, (犬山 2010).
- (6) 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 喜瀬光男, 渡邊浩幸: 玄米の発芽の過程で生成する植物ステロール配糖体のマウスの脂質代謝及び動物行動に及ぼす影響, 第31回日本肥満学会, (前橋 2010).

- (7) 野中翔太, 川村真美, 伊藤幸彦, 奥原康英, 喜瀬光男, 渡邊浩幸: 発芽玄米由来ステロール配糖体が糖尿病モデルマウス (db/dbマウス) に及ぼす影響, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).
- (8) 渡邊浩幸, 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男: 炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出物の影響, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).
- (9) **Hiroyuki Watanabe** (Invited speaker): Foods for specified health use as a class of functional food Current situation and associated issues, Pacificchem 2010 Congress, Symposium, Health & Technology "Chemistry, Safety, Quality and Regulatory Aspects of Functional Food Ingredients, Nutraceuticals and Natural Health Products (#114)", Honolulu, Hawaii, USA, December 15-20, 2010.

3. その他

【研修会】

- (1) 第13回学校保健・保健活動セミナー「特別支援教育における LD・ADHD 等の基礎理解と教育的支援」に参加, 高知, 2010年6月5日
- (2) 第14回学校保健・保健活動セミナー「発達障害のある幼児・学童への具体的関わり方」に参加, 高知, 2010年9月29日
- (3) 厚生労働省 平成22年度発達障害者就労支援者育成事業【四国ブロック】講習会「本人の体験談から学ぶ - 発達障害のある人の就労支援 -」に参加, 高知, 2011年3月19日

Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 学部運営委員 (学部)
3. 臨地実習委員 (学部)
4. 学年担当 (平成20年度入学生)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養士会評議員
2. 社団法人日本脂質栄養学会評議員
3. 日本肥満学会会員
4. 日本食品科学工学会会員
5. 第43回日本栄養食糧学会中国四国支部大会会頭
6. 土佐フードビジネスクリエーター (FBC) 人材創出 講義担当
7. 高知県食品産業研究会チーフアドバイザー

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 株式会社ファンケル研究費: 平成22年度「慢性炎症反応が行動に及ぼす影響の解明と改善方法の探索」

I. 教育活動

【学部】

- 臨床検査医科学
- 健康栄養学基礎 (オムニバス)
- 医療統計学 (オムニバス)
- 健康情報論実習
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 著書

- (1) 和田安彦：各論II-1 老化，松島綱治ら編：分子予防環境医学（改訂版），pp. 357-371（2010），本の泉社，東京。
- (2) 和田安彦，小泉昭夫：遺伝疫学，塩谷隆信 編：遺伝性出血性末梢血管拡張症（HHT）の診療マニュアル，pp. 11-16（2011），中外医学社，東京。

2. 論文

- (1) Eshak ES, Iso H, Date C, Kikuchi S, Watanabe Y, Wada Y, Wakai K, Tamakoshi A; JACC Study Group : Dietary fiber intake is associated with reduced risk of mortality from cardiovascular disease among Japanese men and women. *J Nutr.* **140**, pp. 1445-1453 (2010).
- (2) Inoue Y, Wada Y, Motohashi Y, Koizumi A : History of blood transfusion before 1990 is associated with increased risk for cancer mortality independently of liver disease : a prospective long-term follow-up study, *Environ Health Prev Med*, **15**, pp. 180-187 (2010).
- (3) Mineharu Y, Koizumi A, Wada Y, Iso H, Watanabe Y, Date C, Yamamoto A, Kikuchi S, Inaba Y, Toyoshima H, Kondo T, Tamakoshi A : Coffee, green tea, black tea and oolong tea consumption and risk of mortality from cardiovascular disease in Japanese men and women, *J Epidemiol Community Health*, **65**, pp. 230-40 (2011).

3. 学会発表

- (1) 和田安彦，両角隆一，吉田辰夫，山根冠児，西野雅巳，宗像正徳，南都伸介：「過労死」を引き起こす循環器系疾患発生率の職種間格差および職業性ストレスとの関連，第55回四国公衆衛生学会総会，（高知 2010）。
- (2) 和田安彦：B型・C型肝炎患者の長期保管マイクロフィルム化診療録を用いた医療安全に関する調査，第80回日本衛生学会学術総会，（仙台 2010）。
- (3) Shanika Nanayakkara，原田浩二，人見敏明，板井一好，和田安彦，渡辺孝男：Endemic chronic kidney disease of unknown etiology in north central region of Sri Lanka is a disease induced by focal renal ischemia，第80回日本衛生学会学術総会，（仙台 2010）。
- (4) 松本佳緒里，安井邦枝，富永幾代，三渡直美，帖佐晴美，山際美代子，長谷川由佳，山口亜衣，和田安彦：病職歴データの活用～当院におけるがん入院患者の職歴の特異性抽出の試み～，第58回日本職業・災害医学会，（浦安 2010）。

- (5) 章ぶん, 磯博康, 伊達ちぐさ, 田邊直仁, 和田安彦, 菊地正悟, 玉腰暁子, JACC Study Group: 鉄の摂取量と循環器疾患死亡リスクとの関連 JACC Study, 第21回日本疫学会総会, (札幌 2011).
- (6) 宮崎佳菜子, 稲貝知奈, 山田有華, 古川弘子, 和田安彦: 特定給食施設における紫外線殺菌灯の使用に関する調査研究, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).
- (7) 山田有華, 稲貝知奈, 宮崎佳菜子, 古川弘子, 和田安彦: 女子大生における摂食障害の実態調査と対処法の検討, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).

4. その他

【報告書】

- (1) 和田安彦: Wolfram 症候群の実態把握および診断法確立のための調査研究, 平成21年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 分担研究報告書, pp. 12-14 (2010).

Ⅲ. 委員会活動

1. 健康管理センター運営委員
2. 学部運営委員 (学部)
3. 学年担当 (平成22年度入学生)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 日本衛生学会評議員
2. Environmental Health and Preventive Medicine 編集委員
3. 日本職業・災害医学会評議員
4. 日本産業衛生学会代議員
5. 学部運営委員 (学部)

【講演】

1. オープンキャンパス健康生態学研究室企画「手洗いの効果: キレイ度を可視化! ATP ふきとり検査」講師, 2010年8月1日
2. 高知地方裁判所高知家庭裁判所 健康管理講習会『「過労死」につながる血管老化の予防』講師, 2010年11月11日
3. 健康栄養学部リカレント教育講座「保健統計・疫学のツボ」講師, 2011年2月19日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 独立行政法人労働者健康福祉機構 平成21年度病院機能向上のための研究「医療における職業歴等患者背景情報の活用に関する調査研究」(共同研究者, 2年間)
2. 平成22年度厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「Wolfram症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究」(H22-難治-一般-102) (分担研究者)
3. 平成20~22年度厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「大規模コホート共同研究による生活習慣病発症予防データベース構築とその高度利用に関する研究」(研究協力者) (文部省がんコホート研究: JACC Study班員)

I. 教育活動

【学部】

- 公衆栄養学
- 地域栄養アセスメント
- 地域保健実習
- 地域保健臨地実習
- 栄養情報処理論
- 食事介護実習（オムニバス）
- 総合演習（管理栄養士）（オムニバス）
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 河野淑子, 大山幸綱, 荒牧礼子, 佐藤厚: 救急活動記録票における転倒・転落記録状況の調査, 日本公衆衛生学会雑誌, **57**(4), pp. 305-309 (2010).
- (2) 廣内智子, 佐野尚美, 池田淑, 荒牧礼子, 佐藤厚: ベビーフードにおける欄外アレルギー表示の動向と問題点の検討, 日本病態栄養学会雑誌, **14**(1), pp. 17-24 (2011).
- (3) 荒牧礼子, 廣内智子, 佐藤厚: 日本食品標準成分表における野菜定義と喫食者における野菜認識の差異が野菜摂取量把握に及ぼす影響, 日本栄養・食糧学会誌, **64**(2), pp. 107-111 (2011).

2. 学会発表

- (1) 荒牧礼子, 佐藤厚: 日本食品標準成分表における野菜定義と喫食者における野菜認識の差異が摂取野菜量に及ぼす影響, 第55回四国公衆衛生学会総会, (高知 2010).
- (2) 片山久美子, 原田早苗, 椋芳万, 多田貴雄, 増見千春, 荒牧礼子, 小林征子, 平林眞弓: 栄養成分表示の利用行動と購買行動に関する調査, 第7回日本栄養改善学会中国支部学術総会, (山口 2010).
- (3) 戸早裕美子, 池田佳穂, 古賀雄大, 前田菜摘, 前田美裕紀, 荒牧礼子, 小林征子, 平林眞弓: 社会的背景とメタボリックシンドロームとの関わり, 第7回日本栄養改善学会中国支部学術総会, (山口 2010).
- (4) 荒牧礼子, 佐藤厚: 食品選択情報源としての栄養表示について—大学生を対象とした調査より—第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (5) 佐藤厚, 池洋一, 三木章江, 廣内智子, 荒牧礼子: 継続的なトマトジュース摂取による血圧低下作用への影響, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (6) 廣内智子, 三木章江, 荒牧礼子, 佐藤厚: アレルギー物質を含む食品に関する表示について, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (7) 荒牧礼子, 佐藤厚: 料理書籍出版数の年次推移から見た食生活スタイルの検討, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).

Ⅲ. 委員会活動

1. 入試実施委員
2. 健康栄養学研究倫理専門審査委員（学部）
3. 健康長寿センター委員
4. 国際交流委員
5. 臨地実習委員会委員長（学部）

Ⅳ. 社会的活動

【出前講座】

1. 健康長寿体験型セミナー「認知症予防のための食事」（仁淀川町），2011年3月10日
2. 健康長寿体験型セミナー「認知症予防のための食事」（永国寺町），2011年3月23日

【講演】

1. 高知女子大学健康長寿公開講座「栄養バランスのよい食生活」講師，高知女子大学池キャンパス，2010年11月28日
2. 日本野菜ソムリエ養成講座 講師 2010年6月20日，7月25日，8月22日，9月20日，11月2日，12月21日，2011年1月29日，2月5日，2月20日，3月8日，3月9日
3. ベジフルメンバーズクラブ講座 講師 2010年7月18日

I. 教育活動

【学部】

- 学校栄養教育実習（オムニバス）
- 学校栄養指導論Ⅰ（オムニバス）
- 学校栄養指導論Ⅱ（オムニバス）
- 総合演習（教職科目）（オムニバス）
- 健康栄養学概論（オムニバス）

II. 研究活動

1. 学会発表

- (1) 箭野しづこ，野中浩二，樋口祐子，坂本喜代子，今井淳，小松洋文，清水扶美，佐藤厚：中央西福祉保健所管内の保育・幼稚園，学校の食育の現状と方向性における調査・検討，第55回国公衆衛生学会総会，（高知 2010）.
- (2) 古川弘子，久保田賢，廣内智子，細川公子，松井慶子，池一美，清水扶美：高知県におけるスリムキャンプの取り組み1～新たな取り組みとプログラムの構築を目指して～，第57回日本栄養改善学会学術総会，（埼玉 2010）.
- (3) 清水扶美，久保田賢，古川弘子：高知県におけるスリムキャンプの取り組み2～スリムキャンプ前後の意識・身体状況の評価～，第57回日本栄養改善学会学術総会，（埼玉 2010）.
- (4) 箭野しづこ，清水扶美：高知県中央西福祉保健所管内の保育・幼稚園，学校における食育の現状と方向性の調査・検討，第57回日本栄養改善学会学術総会，（埼玉 2010）.
- (5) 山本美佳，川村真美，清水扶美：日本と韓国の「食」の現状と栄養教育についての比較・検討，第57回日本栄養改善学会学術総会，（埼玉 2010）.
- (6) 古川弘子，中尾聡志，吉岡和哉，細川公子，川島美保，矢野礼子，清水扶美，新井淳一，岡田泰助：小児肥満・2型糖尿病に対するキャンプについて，第25回高知県内分泌代謝研究会，（高知 2010）.
- (7) 古川弘子，中尾聡志，吉岡和哉，細川公子，川島美保，矢野礼子，清水扶美，新井淳一，岡田泰助：肥満・2型糖尿病に対するキャンプについて－第2報－，第3回小児糖尿病代謝フォーラム，（東京 2010）.

2. その他

【報告書】

- (1) 社団法人高知県栄養士会：若年者の生活習慣改善事業「夏休み！親子でスリムキャンプ」実施報告書，（2010年3月）.

Ⅲ. 委員会活動

1. 教職課程専門委員
2. 資格取得専門委員
3. 学年担当（平成21年度入学生）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県教科用図書選定審議会委員
2. 高知県食育連携推進協議会委員

【講演】

1. 幡多福祉保健所管轄内栄養業務担当者会 講師「小児の生活習慣見直しへの新しい取り組み～地域でのさまざまな取り組みを通して～」2010年2月23日

Ⅴ. 研究助成

【学外】

1. 研究題目：食育およびヨード卵の機能性の検討（共同研究者：日本農産工業株式会社 横山次郎）

I. 教育活動

【学部】

- 給食経営管理論
- 給食計画論
- 給食経営管理実習
- 給食実務実習
- 総合演習（オムニバス）
- 食事介護実習（オムニバス）
- 実践栄養学
- 給食経営管理臨地実習
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 島田郁子, 川村美笑子: 断食による眠気の変化と生活習慣との関連～日本人の「生活リズムの変化と生活習慣病」に係るアセスメントへの応用を目指して～, 日本微量栄養素研究, **27**, pp. 103-108 (2010).
- (2) 松井慶子, 島田郁子, 隅田有公子, 池上佳奈子, 竹内舞, 萬條裕乃, 桧田千裕, 中島玉恵, 道順比紗子, 川村美笑子: *In vitro*とろみ調整食品の消化に係る基礎的研究, 日本微量栄養素研究, **27**, pp. 109-113 (2010).
- (3) 島田郁子, 中島亜理沙, 平瀬千佳, 吉岡奈緒, 沼田聡: 女子大生の食選択の実態および情報提供の効果に関する研究, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 1-11 (2010).
- (4) 沼田聡, 平瀬千佳, 吉岡奈緒, 中島亜理沙, 島田郁子: クックチルシステムを用いた減塩食についての基礎的検討, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 23-28 (2010).

2. 学会発表

- (1) 中島亜理沙, 平瀬千佳, 吉岡奈緒, 沼田聡, 島田郁子: 女子大生の食選択の実態および情報提供の効果に関する研究, 第57回 日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (2) 沼田聡, 吉岡奈緒, 中島亜理沙, 島田郁子: 給食サービス現場におけるクックチルシステムの有用性, 第57回 日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (3) 島田郁子, 吉岡奈緒, 中島亜理沙, 沼田聡: ソフト食の効率的な導入に関する研究, 第57回 日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (4) 廣内智子, 島田郁子, 佐藤厚: 自治体における災害時の栄養・食生活支援の対応について, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).

3. その他

【報告書】

- (1) 高知女子大学大学院公開講座報告書：「南海地震時の避難生活を支える災害食について」，（濱口ゆう子，大村誠，島田郁子，廣内智子），2011年3月

Ⅲ. 委員会活動

1. 学部教務委員長
2. 臨地実習委員（学部）

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 土佐市社会福祉事業団理事
2. 香美市産学官連携産業振興支援会議ワーキンググループ，2011年3月～
3. RKC 高知放送主催「子育て応援団すこやか2010」参加，高知ちばさんセンター，2010年7月24日～25日
4. 高知県栄養士会主催「栄養ケアステーション事業（栄養相談）」参加，土佐山田バリュー店，2010年8月22日，11月21日

【出前講座】

1. 高知女子大学健康長寿出前講座（いの町），2010年1月13日
2. 高知女子大学健康長寿出前講座「認知症予防の食事について」，土佐市，2010年3月21日

【講演】

1. 健康教育講座「食事と健康について」講師，高知女子大学，2010年10月19日，10月21日
2. 「よりよい食事提供を目指して」講師，土佐市特別養護老人ホームとさの里，2010年11月25日
3. 「産業社会と人間」「栄養士の仕事および進路選択について」講師，高知県立室戸高等学校，2010年2月16日
4. 高知女子大学大学院公開講座「南海地震時の避難生活を支える災害食について」講師，高知かるぽーと，2011年3月5日

【新聞記事等】

1. NHK 高知放送局 こうち情報いちばん「身体を温める食べ物・冷やす食べ物」出演，2010年8月18日
2. NHK 高知放送局 こうち情報いちばん「冬至の食べ物」助言者，2010年12月8日

【その他】

1. 高知南高等学校 学校訪問受け入れ 公開授業「給食経営管理論」，2010年12月21日
2. 国際交流活動準備の一環としてマレーシアサバ大学（University Malaysia Sabah）訪問現地調査 2011年3月10日～18日

I. 教育活動

【学部】

- 調理学
- 調理学実習 I
- 調理学実習 II (平成22年度入学生対象)
- 調理学実習 II (平成21年度入学生対象)
- 調理科学実験
- 調理科学
- 食の科学 (オムニバス)
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) K. Ueta, **M. Nishioka**, Y. Yabuta, F. Watanabe : TLC-bioautography analysis of vitamin B₁₂ compound from the short-necked clam (*Ruditapes Philippinarum*) extract used as a flavoring, J. Liq. Chrom. Rel. Technol. **33**, pp. 972-979 (2010).
- (2) **西岡道子**, 彼末富貴, 藪田行哲, 渡辺文雄 : カツオ魚肉および内臓各部位のビタミン B₁₂ 含量, 日本ビタミン学会誌, **84**, pp. 322-324 (2010).
- (3) **西岡道子**, 彼末富貴, 渡辺文雄 : 遊離型ビタミン B₁₂ 供給源としてめふんを用いた料理の嗜好性, 高知女子大学紀要, **59**, pp. 1-7 (2010).

2. 学会発表

- (1) **西岡道子**, 彼末富貴, 渡辺文雄 : きびなごに含まれるビタミン B₁₂ の調理損失, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).

III. 委員会活動

1. 総合情報センター運営委員 (前期)
2. 入試監査委員

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人高知県栄養士会会員
2. NPO 法人食生態学実践フォーラム会員

I. 教育活動

【学部】

- 臨床栄養学実習 I
- 臨床栄養学実習 II
- 臨床栄養学臨地実習 I
- 臨床栄養学臨地実習 II
- 食様式論 (オムニバス)
- 健康栄養学概論 (オムニバス)
- 卒業研究
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 廣内智子, 荒牧礼子, 佐藤厚: ベビーフードにおける欄外アレルギー表示の動向と問題点の検討, 日本病態栄養学会誌, **14**(1), pp. 17-24 (2011).
- (2) 荒牧礼子, 廣内智子, 佐藤厚: 日本食品標準成分表における野菜定義と喫食者における野菜認識の差異が摂取野菜量把握に及ぼす影響, 日本栄養・食糧学会誌, **64**(2), pp. 107-111 (2011).

2. 学会発表

- (1) 廣内智子, 佐藤厚: アレルギー物質を含む食品の表示の現状 - 特にチョコレート類に関して -, 第55回四国公衆衛生学会総会, (高知 2010).
- (2) 古川弘子, 久保田賢, 廣内智子, 細川公子, 松井慶子, 池一美, 清水扶美: 高知県におけるスリムキャンプの取り組み1 ~新たな取り組みとプログラムの構築を目指して~, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (3) 廣内智子, 三木章江, 荒牧礼子, 佐藤厚: アレルギー物質を含む食品に関する表示について, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (4) 荒牧礼子, 三木章江, 廣内智子, 佐藤厚: 食品選択情報源としての栄養表示について - 大学生を対象とした調査より -, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (5) 廣内智子, 島田郁子, 佐藤厚: 自治体における災害時の栄養・食生活支援の対応について, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).

3. その他

【雑誌】

- (1) 高知の子育てを支援する情報誌「大きくなあれ」まるごと健康特集号11月号, p. 9 (2010).

【報告書】

- (1) 学長裁量経費特別調査プロジェクト報告書「健康長寿と人間尊厳のまちづくり・高知」, (宮武陽子, 西内章, 山中福子, 廣内智子)
- (2) 高知女子大学大学院公開講座報告書: 「南海地震時の避難生活を支える災害食について」, (濱

口ゆう子, 大村誠, 島田郁子, 廣内智子), 2011年3月

【短期研修】

(1) 日本咀嚼学会認定資格講習会参加, 「健康咀嚼指導士 第821号」取得, 2010年8月28日~29日

Ⅲ. 委員会活動

1. 共通教育専門委員
2. IPE プロジェクト委員
3. 健康長寿委員
4. 管理栄養士国家試験対策委員 (学部)
5. 臨地実習委員 (学部)

Ⅳ. 社会的活動

【出前講座】

1. 高知女子大学健康長寿出前講座 (いの町), 2010年1月13日
2. 高知女子大学健康長寿体験型セミナー「認知症予防のための食事」(仁淀川町), 2011年3月10日
3. 高知女子大学健康長寿体験型セミナー「認知症予防のための食事」(永国寺町), 2011年3月23日

【講演】

1. 高知女子大学健康長寿出前講座「認知症予防の食事について」講師, 土佐市, 2010年3月21日
2. 大学出前講座「お菓子の食べ方について」講師, 小津高等学校, 2010年7月1日
3. 健康教育講座「食事と健康について」講師, 高知女子大学, 2010年10月19日, 10月21日
4. 高知女子大学健康長寿公開講座「栄養バランスの良い食生活について」講師, 高知女子大学池キャンパス, 2010年11月28日
5. 子育てガイダンス「幼児期の栄養」講師, 大川村つぼみ保育園, 2011年2月3日
6. 大学出前講義「臨床栄養と食生活の関係」講師, 土佐女子高等学校, 2011年2月9日
7. 高知女子大学大学院公開講座「南海地震時の避難生活を支える災害食について」講師, 高知かるぽーと, 2011年3月5日

【新聞記事等】

1. エフエム高知ラジオ, 2010年4月14日
2. NHK 高知放送局 こうち情報いちばん「身体を温める食べ物・冷やす食べ物」出演, 2010年8月18日

【その他】

1. 進路ガイダンス, 高知新阪急ホテル, 2010年1月18日

I. 教育活動

【学部】

- 健康栄養学概論（オムニバス）
- 地域保健実習
- 地域保健臨地実習
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 河野淑子, 大山幸綱, 荒牧礼子, 佐藤厚：救急活動記録票における転倒・転落記録状況の調査, 日本公衆衛生雑誌, **57**(4), pp. 305-309 (2010).
- (2) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 大山幸綱, 佐藤厚：救急搬送記録を用いた転倒・転落記録状況の調査－発生場所および発生時期の検討－, 日本公衆衛生雑誌, **57**(5), pp. 403-409 (2010).
- (3) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 大山幸綱, 河野淑子, 佐藤厚：救急搬送における高齢者の転倒の標準化発生比と社会経済状態の関連, 日本公衆衛生雑誌, **58**(3), pp. 183-189 (2011).

2. 学会発表

- (1) 三木章江, 佐藤厚：アレルギー物質を含む食品表示の動向－インスタント麺に関して－, 第55回四国公衆衛生学会総会, (高知 2010).
- (2) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 大山幸綱, 佐藤厚：救急搬送記録を用いた転倒状況の実態調査－転倒の発生場所および発生時期の検討－, 第55回四国公衆衛生学会総会, (高知 2010).
- (3) 浜岡克伺, 吉本好延, 大山幸綱, 三木章江, 佐藤厚：女性高齢者の転倒危険因子の解析に向けた予備的検証－身体的・心理的・環境的・社会的・生活習慣的因子の検討－, 第55回四国公衆衛生学会総会, (高知 2010).
- (4) 佐藤厚, 池洋一, 三木章江, 廣内智子, 荒牧礼子：継続的なトマトジュース摂取による血圧低下作用への影響, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (5) 荒牧礼子, 三木章江, 廣内智子, 佐藤厚：食品選択情報源としての栄養表示について－大学生を対象とした調査より－, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (6) 廣内智子, 三木章江, 荒牧礼子, 佐藤厚：アレルギー物質を含む食品に関する表示について, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).
- (7) 吉本好延, 三木章江, 浜岡克伺, 大山幸綱, 佐藤厚：救急搬送における高齢者の転倒の標準化発生比と社会経済状態の関連, 第69回日本公衆衛生学会総会, (東京 2010).

III. 委員会活動

1. 地域創成センター推進委員
2. 入試監査委員
3. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人高知県栄養士会会員

【出前講座】

1. 高知女子大学健康長寿出前講座補助「認知症予防の食事について」, 土佐市, 2010年3月21日

I. 教育活動

【学部】

- 健康情報論実習
- 臨床栄養学実習 I
- 臨床栄養学実習 II
- 臨床栄養学臨地実習 I
- 臨床栄養学臨地実習 II
- 管理栄養士国家試験対策講座

II. 研究活動

1. 論文

- (1) Atsushi Hattori, Kazuaki Mawatari, Satomi Tsuzuki, Emiko Yoshioka, Satomi Toda, Masaki Yoshida, Sonoko Yasui, **Hiroko Furukawa**, Masaki Morishima, Katsushige Ono, Takamasa Ohnishi, Masayuki Nakano, Nagakatsu Harada, Akira Takahashi, Yutaka Nakaya β Adrenergic-AMPK Pathway Phosphorylates Acetyl-CoA Carboxylase in a High-epinephrine Rat Model, *SPORTS, Obesity*. **18**(1), pp. 48-54 (2010).

2. 学会発表

- (1) 古川弘子, 久保田賢, 廣内智子, 細川公子, 松井慶子, 池一美, 清水扶美: 高知県におけるスリムキャンプの取り組み 1 ~新たな取組みとプログラムの構築を目指して~, 第57回 日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (2) 清水扶美, 久保田賢, 古川弘子: 高知県におけるスリムキャンプの取り組み 2 ~スリムキャンプ前後の意識・身体状況の評価~, 第57回 日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (3) 古川弘子, 新井淳一, 岡田泰助: 肥満・2型糖尿病に対するキャンプについて, 第25回高知県小児糖尿病代謝内分泌学会, (高知 2010).
- (4) 古川弘子, 中尾聡志, 吉岡和哉, 細川公子, 川島美保, 矢野礼子, 清水扶美, 新井淳一, 岡田泰助: 肥満・2型糖尿病に対するキャンプについて - 第2報 -, 第3回小児糖尿病代謝フォーラム, (東京 2010).
- (5) 宮崎佳菜子, 稲員知奈, 山田有華, 古川弘子, 和田安彦: 特定給食施設における紫外線殺菌灯使用に関する調査研究, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).
- (6) 山田有華, 稲員知奈, 宮崎佳菜子, 古川弘子, 和田安彦: 女子大生における摂食障害の実態調査と対処法の検討, 第56回四国公衆衛生学会総会, (高松 2011).
- (7) 古川弘子, 新井淳一, 岡田泰助: 子供の肥満治療の実際 - 親子スリムキャンプについて -, 第79回日本小児科学会高知地方会, (高知 2011).
- (8) 岡田泰助, 古川弘子, 新井淳一: Prader-Willi 症候群 (PWS) の治療の実際, 第79回日本小児科学会高知地方会, (高知 2011).

3. その他

【雑誌】

- (1) 古川弘子, 岡田泰助: 夏休み! 親子でスリムキャンプ, 糖尿病診療マスター, **9**(1), pp. 81-84 (2011).

Ⅲ. 委員会活動

1. 紀要編集委員
2. 臨地実習委員
3. 管理栄養士国家試験対策委員
4. 学年担当 (平成22年度入学生)

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 高知県小児糖尿病生活指導講習会 (サマーキャンプ) スタッフ
2. 親子でスリムキャンプ, フォローアップ企画運営
3. Prader-willi 症候群 (PWS) 親子の会 企画運営
4. 社団法人高知県栄養士会会員
5. 社団法人日本栄養士会会員
6. 日本栄養改善学会会員
7. 日本臨床栄養学会会員
8. 日本病態栄養学会会員
9. 社団法人日本糖尿病協会会員
10. 社団法人日本栄養・食糧学会会員
11. 日本発達障害学会会員

【講演】

1. 「お子さんと一緒に・スリムミニキャンプ ((社)日本糖尿病協会主催)」講師, 東京, 2010年8月29日

【その他】

1. 「Wolfram 症候群の実態調査に基づく早期診断法の確立と診療指針作成のための研究班」(厚生労働省) 研究協力者

V. 研究助成

【学外】

1. 平成22年度文部科学省科学研究費補助金 (若手B): 「入院患者における高カリウム血症の頻度とリスク要因に関する研究」

I. 教育活動

【学部】

- 調理学実習 I
- 調理学実習 II (平成22年度入学生対象)
- 調理学実習 II (平成21年度入学生対象)
- 調理科学実験
- 解剖生理学実験
- 土佐の自然と暮らし (オムニバス)

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 西岡道子, 彼末富貴, 渡辺文雄: 遊離型ビタミン B₁₂ 供給源としてめふんを用いた料理の嗜好性, 高知女子大学紀要生活科学部編, **59**, pp. 1-7 (2010).
- (2) 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男, 渡邊浩幸: 炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出液の影響, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 13-21 (2011).

2. 学会発表

- (1) 渡邊浩幸, 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男: 炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出物の影響, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).
- (2) 西岡道子, 彼末富貴, 渡辺文雄: きびなごに含まれるビタミン B₁₂ の調理損失, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).

3. その他

【雑誌】

- (1) 彼末富貴: 平成21年度版ファミリー日誌, 全国農林統計協会連合会, p. 26, 260 (2010).

III. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. よい食生活をすすめるネットワーク役員
2. 土佐伝統食研究会会員
3. 高知県水産物 PR キャンペーン「県産魚を使ったオリジナル料理レシピコンクール」審査員
4. 高知県水産物 PR キャンペーン「親子おさかな料理教室」2010年10月2日, 11月3日, 12月4日, 2011年2月5日, 3月5日
5. 土佐名産会 新商品のレシピ紹介協力

【講演】

1. 社会福祉法人高知県社会福祉協議会 プラザいきいきクッキング教室「旬の食材でかんたん！
おうちごはん～夏メニュー～」，講師，2010年6月19日
2. 社会福祉法人高知県社会福祉協議会 プラザいきいきクッキング教室「旬の食材でかんたん！
おうちごはん～春メニュー～」，講師，2011年2月19日
3. 一日岡豊大学 講師，高知県立岡豊高校，2011年3月14日

I. 教育活動

【学部】

- 食品衛生学実験
- 基礎食品学実験
- 食品学実験
- 食品有機化学実験

II. 研究活動

1. 論文

(1) 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男, 渡邊浩幸: 炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出液の影響, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 13-21 (2011).

2. 学会発表

(1) 渡邊浩幸, 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 喜瀬光男, 臼杵靖剛, Robert K. Yu: 発芽玄米に含有する植物ステロール配糖体画分の高脂肪食負荷マウスに及ぼす影響, 第64回日本栄養・食糧学会大会, (徳島 2010).

(2) 野中翔太, 川村真美, 奥原康英, 喜瀬光男, 臼杵靖剛, Robert K. Yu, 渡邊浩幸: 発芽玄米由来植物ステロール配糖体 (PSG) が老化促進マウス (SAMP8) の行動に及ぼす影響, 第64回日本栄養・食糧学会大会, (徳島 2010).

(3) C. Iwasa, M. Kawamura, S. Nonaka, Y. Okuhara, M. Kise, S. Usuki, Robert K. Yu, H. Watanabe Effect of pre-germinated brown rice derived steryl-glucoside on high-fat-fed mice, Bioactive Okayama 2010 The Sixth Symposium on Food and Nutrition Research in East Asia and the Surrounds, Japan, August 11-12, (Okayama 2010).

(4) S. Nonaka, C. Iwasa, M. Kawamura, Y. Okuhara, M. Kise, S. Usuki, Robert K. Yu, H. Watanabe Effect of pre-germinated brown rice derived steryl-glucosides (PSG) on senescence-accelerated mice (SAMP8), Bioactive Okayama 2010 The Sixth Symposium on Food and Nutrition Research in East Asia and the Surrounds, Japan, August 11-12, (Okayama 2010).

(5) 渡邊浩幸, 川村真美, 戸本好美, 後藤直宏, 和田俊: 低温乾燥ニンニクの抗酸化能とマウスの脂質代謝に及ぼす影響, 日本脂質栄養学会第19回大会, (犬山 2010).

(6) 石井俊行, 山本美佳, 川村真美, 横山次郎: 学校給食の特徴とヨウ素摂取量の関係性(1)~学校給食におけるヨウ素摂取の季節差に関する検討~, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).

(7) 川村真美, 山本美佳, 石井俊行, 横山次郎: 学校給食の特徴とヨウ素摂取量の関係性(2)~横浜市と高知県N市の地域差の比較検討~, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).

(8) 山本美佳, 川村真美, 清水扶美: 日本と韓国の「食」の現状と栄養教育についての比較検討~, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).

(9) 川村真美, 野中翔太, 奥原康英, 喜瀬光男, 渡邊浩幸: 玄米の発芽の過程で生成する植物ステロール配糖体のマウスの脂質代謝及び動物行動に及ぼす影響, 第31回日本肥満学会, (前橋

2010).

- (10) 野中翔太, 川村真美, 伊藤幸彦, 奥原康英, 喜瀬光男, 渡邊浩幸, : 発芽玄米由来ステロール配糖体が糖尿病モデルマウス (db/dbマウス) に及ぼす影響, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).
- (11) 渡邊浩幸, 彼末富貴, 川村真美, 楠瀬幸, 折原洋一, 野中翔太, 喜瀬光男, : 炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出物の影響, 第43回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会, (高知 2010).

3. その他

【研修会】

- (1) 日本栄養士養成施設協会第105回研修会に参加, 大阪, 2010年8月5～6日
- (2) 高知県栄養士会第3回生涯学習研修会『トピックス「運動と栄養」』に参加, 高知, 2010年8月29日
- (3) 食品加工生産管理高度化研修「食品安全総論」に参加, 高知, 2010年9月7日

Ⅲ. 委員会活動

1. 総合情報センター情報処理部会員

Ⅳ. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. 社団法人日本栄養・食糧学会会員
2. 日本肥満学会会員
3. 日本栄養改善学会会員
4. 社団法人日本栄養士会会員
5. 社団法人高知県栄養士会会員

I. 教育活動

【学部】

- 給食経営管理実習
- 給食経営管理臨地実習

II. 研究活動

1. 論文

- (1) 沼田聡, 平瀬千佳, 吉岡奈緒, 中島亜理沙, 島田郁子: クックチルシステムを用いた減塩食についての基礎的検討, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 23-28 (2011)
- (2) 島田郁子, 中島亜理沙, 平瀬千佳, 吉岡奈緒, 沼田聡: 女子大生の食選択の実態および情報提供の効果に関する研究, 高知女子大学紀要健康栄養学部編, **1**, pp. 1-11 (2011)

2. 学会発表

- (1) 秋山真敏, 吉村英悟, 沼田聡, 梅原麻子, 橋田誠一: 尿中成長ホルモンを指標とした運動評価の検討, 第64回日本栄養食糧学会大会, (徳島 2010).
- (2) 片上秀喜, 奈須和幸, 沼田聡, 加藤純子, 岡崎亮, 井上大輔, 小谷野肇, 橋田誠一: 糖尿病研究における超高感度測定法の開発と臨床応用 (その3): インスリン自己抗体に対する新規測定法の改良, 第53回日本糖尿病学会年次学術集会, (岡山 2010).
- (3) 沼田聡, 吉岡奈緒, 中島亜理沙, 島田郁子: 給食サービス現場におけるクックチルシステムの有用性, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (4) 中島亜理沙, 吉岡奈緒, 沼田聡, 島田郁子: 女子大生の食選択の実態および情報提供の効果に関する研究, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (5) 島田郁子, 吉岡奈緒, 中島亜理沙, 沼田聡: ソフト食の効率的な導入に関する研究, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).
- (6) 秋山真敏, 吉村英悟, 沼田聡, 梅原麻子, 橋田誠一: 尿中成長ホルモンを指標とした運動評価の検討, 第57回日本栄養改善学会学術総会, (埼玉 2010).

III. 委員会活動

1. 広報委員
2. 臨地実習委員 (学部)

IV. 社会的活動

【社会貢献活動】

1. RKC 高知放送主催「子育て応援団すこやか2010」参加, 高知ちばさんセンター, 2010年7月24日~25日

【出前講座】

1. 高知女子大学健康長寿出前講座（いの町），2010年1月13日
2. 高知女子大学健康長寿出前講座「認知症予防の食事について」，土佐市，2010年3月21日

【新聞記事等】

1. NHK高知放送局 こうち情報いちばん「身体を温める食べ物・冷やす食べ物」出演，2010年8月18日



各種委員会活動報告

入試実施委員会 渡邊 浩幸・荒牧 礼子

1. 平成23年度入試の概況

平成22年に高知女子大学は、平成23年度から男女共学とし、大学の名称を「高知県立大学」に変更すること、また、遅くとも平成23年4月には公立大学法人化するとの意向を表明した。さらに、平成22年4月より、学部昇格（健康栄養学部健康栄養学科）し、学部が新しく生まれ変わることで、受験関係者への広報及び365日オープンキャンパスの強化をすすめてきたこともあり、平成23年度入試の受験倍率が高くなったのではないかとと思われる。入試区分、募集人員、志願者数（全体、県内）、受験者数（全体、県内）、合格者数（全体、県内）、入学者数（全体、県内）、志願倍率、合格倍率を下表に示した。また、健康栄養学部として池キャンパスに移転後、初の入学試験であった。

平成23年度高知女子大学健康栄養学部健康栄養学科入学試験結果

学部	学科	区分		募集人員 A	男女別	志願者数B		受験者数C		合格者数D		入学者数		志願 倍率 B/A	合格 倍率 C/D	
						全体	(県内)	全体	(県内)	全体	(県内)	全体	(県内)			
健康 栄養 学部	健康 栄養 学科	推薦	県内	10	男	0	0	0	0	0	0	0	0			
					女	33	33	33	33	10	10	10	10			
					計	33	33	33	33	10	10	10	10	3.3	3.3	
			全国	5	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
					女	61	0	61	0	5	0	5	0			
					計	61	0	61	0	5	0	5	0	12.2	12.2	
		計	15	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
				女	94	33	94	33	15	10	15	10				
				計	94	33	94	33	15	10	15	10	6.3	6.3		
		個別	前期	25	男	3	1	3	1	1	0	1	0			
					女	102	16	95	16	28	9	25	9			
					計	105	17	98	17	29	9	26	9	4.2	3.4	
					合計	40										
		合計	40	男	3	1	3	1	1	0	1	0				
				女	196	49	189	49	43	19	40	19				
計	199			50	192	50	44	19	41	19	5.0	4.4				

2. 平成23年度入試の特徴

推薦入試では、男子生徒の出願はなかったが、個別入試（一般選抜前期入試）では、男子生徒の出願があり、1名が合格した。推薦入試については、県内推薦（3.3倍）と比較して、全国推薦（12.2倍）において高い倍率となった。また、個別入試においても、県内受験者と比較して、県外受験者の人数が多かった。なお、個別入試における県内合格者は、例年に比べ、多かった。

3. 今後の課題

今年度、入試広報活動を通して、受験生や関係者に授業科目、授業の様子等を伝え、受験校として信頼されるような情報を伝える工夫を展開してきた。今後は、受験生への広報を通して、本学部のアドミッションポリシーを受験生に、より一層理解してもらえるような入試方法の改善を検討したい。

1. 活動方針

教務：本部組織が池キャンパスに移転、次年度の法人化及び共学化に向け、便覧等の見直しを行う。

共通教育：看護、社会福祉、健康栄養学部の3学部が池キャンパスとなり、学内教員の池及び永国寺両キャンパスでの科目担当が増加した。学生への教育効果を上げるためにも、可能な限り集中講義を避け、正規の時間割に入れるよう検討を行う。

2. 活動内容

教務：風水害等非常時における授業・学期末試験の取り扱いについての申し合わせ事項の整備を行った。特別の理由による授業欠席者の取り扱いについて、学生への補填を配慮した内容に整備を行った。

共通教育：男女共学となることから、女性学科目をジェンダー学科目とするなど、科目の再編を行った。健康スポーツ科学等、実施に必要な物品の購入を行った。

教職：文部科学省へ教職課程申請を行った。申請時に新カリキュラムに対応するための教員の手配、シラバス作成等を行った。

3. 今後の課題

教務：増加する学生数に対応すべく、学生課と連携して学生の履修を支援する体制を整える。

共通教育：学内教員による共通教育科目については、可能な限り集中講義ではなく、正規の時間割に入れることができるよう図る。

教職：学生の教職希望者増加を想定し、実習校決定のプロセスの効率化を図る。

1. 活動方針

高知女子大学（平成23年4月から高知県立大学）の学生の福利厚生、奨学生選考等、学生生活を支援するための事項を審議する。

2. 活動内容

- 1) 授業料減免及び奨学金に関する事項
- 2) 学生寮の管理運営に関する事項
- 3) 学生の表彰に関する事項
- 4) 学生の課外活動に関する事項
- 5) 学生会館の管理運営に関する事項
- 6) その他学生の福利厚生に関する事項

3. その他具体的事項

- 1) 授業料免除について
- 2) 学長賞・大学賞について
- 3) 規程改正について
- 4) 新学生証について
- 5) あふち寮について：耐震診断
- 6) 「新入生のつどい」について
- 7) 新入生及び在学生のオリエンテーションについて：『女性のための防犯』をテーマに、池、永国寺両キャンパス防犯講演
- 8) キャンパス安全ガイドについて
- 9) 池キャンパス学生会館の使用について：学生会館和室の利用について
- 10) 四国インカレについて：日程、壮行式、キャンパスグッズ作成など
- 11) 年間行事予定
- 12) バス通学について
- 13) 駐輪場、駐車場、街灯設置について：池キャンパス駐車場について
- 14) キャンパスグッズ・卒業記念品について

4. 課題

池キャンパスへ移転後、通学に伴う交通事故件数の増大があり、今後の大きな課題である。

1. 活動内容

1) 全学的取り組み

本学では、池、永国寺両キャンパスのキャリアセンターに就職相談員が配置され、教員と共に就職に関する指導・支援している。キャリアセンター（ワクワクWork!!）が、平成14年4月に新設され、年次を問わず、就職に関する様々な相談やリクエストに応えている。就職活動に関する個別相談、企業への提出書類のチェックや模擬面接の実施等、安心して就職活動に取り組めるよう、一人ひとりの学生への徹底した指導・サポートを行っている。また、知りたい情報がいつでも自由に閲覧できるよう、病院、施設、企業関連の資料や公務員の募集要項、就職関連図書などを豊富に揃えている。就職情報の情報化に対応してパソコンコーナーも設置、就職情報サイトへの登録や企業・業界情報の収集、企業から自分宛てに届いたメールのチェックなど、多くの学生が自由に利用している。さらに、求人実績のある企業や医療・福祉関係を中心に、採用計画・先輩の有無・就職試験の傾向と対策など、本学独自の企業データも検索することができる。卒業生が残した詳細な就職活動の記録である就職活動報告書があり、後輩学生の参考になっている。

また、ワクワク Work!! 主催の模擬試験や就職活動の進め方についてのガイダンスが数多く実施されており、ガイダンスへの積極的な参加を呼びかけ、就職活動の活性化を図っている。

平成22年度より、ハローワーク高知の大卒ジョブサポーター1名が、毎週1回水曜日の午後、池ワクワク Work!! に席を置き、学生の個別相談を受ける体制となり、就職活動に関する学生のカウンセリング的役割も担っている。また、高知のみでなく全国の採用情報が効率的に多く提供されるようになり、就職活動の活性化につながっている。

2) 学部の取り組み

学部独自に2名の就職担当教員を配置しており、学年担当教員や卒業研究指導教員と連携して就職を支援している。密に連絡を取り、就職活動の活性化に務め、個別に提出書類の添削・指導を行い、就職情報の提供や支援を行った。またワクワク Work!! 主催の就職ガイダンスへの積極的な参加を促した。

また、平成20（2008）年度より開催している学部独自の就職セミナーを、今期は3回開催した。ほとんどの学部在生が参加し、参加感想アンケートを集計すると、就職活動の参考になるだけでなく、日々の授業での勉学の重要性の認識や国家試験勉強の動機付けにもつながり、ポジティブな刺激になったことがうかがえた。

以下にキャリアセンター及び学部が主催した就職支援企画への参加実績を示す。

月日	キャンパス	タイトル	対象	参加人数
2010/1/18	永国寺	2009年度第3回健康栄養学科就職セミナー	全学年	64
2010/1/25	永国寺	高知銀行会社説明会	3回生	2
2010/1/25	永国寺	大正製薬会社説明会	3回生	4
2010/4/7	池	オリエンテーション	3回生	17
		企業実習オリエンテーション	4回生	19
2010/4/12	永国寺	教員採用試験模擬試験	2・3・4回生	8
2010/4/12	永国寺	教員採用試験模擬試験	2・3・4回生	1
2010/4/26	永国寺	高知県教員採用試験説明会	4回生	4

2010/5/18	永国寺	岡山県教育委員会教員採用試験説明会	4 回生	1
2010/5/18	池	大切な一步を踏み出すために（講演会）	3 回生	21
2010/5/22	永国寺	公務員ガイダンス	全学年	9
		教員ガイダンス	全学年	6
2010/5/29	池	公務員ガイダンス	全学年	7
2010/5/31	永国寺	R-CAP（適職検査）受検会 * 有料	2・3 回生	6
	池	※R-CAP のみ（自己分析廃止）	2・3 回生	17
2010/7/17	永国寺	就職必勝・実践WIN講座 * 有料	3 回生	12
2010/7/18				10
2010/7/19				8
2010/10/8	池	就職情報サイト（リクナビ）の活用法	3 回生	13
2010/10/9	池	健康栄養学部第 1 回健康栄養学科就職セミナー	全学年	68
2010/10/22	池	SPI 模擬試験（マークシート版）* 有料	全学年	1
2010/11/5	池	業界・企業研究の仕方	2・3 回生	15
2010/11/8	永国寺	エントリーシート の書き方講座	3 回生	10
2010/11/11	池	リクルートファッション&メイク講習会	2・3・4 回生	11
2010/11/12	池	エームサービス株式会社 会社説明会	3 回生	20
2010/11/20	大阪	合同会社説明会（京セラドーム）バスツアー * 有料	3 回生	10
2010/12/6	池	ストレンクス受検会（新）* 有料	全学年	11
2010/12/11	永国寺	就職必勝・実践 WIN 講座 Part2 * 有料	3 回生	6
2011/1/17	永国寺	ストレンクス解説会	全学年	1
2011/1/17	池	教えて！先輩 ～健康栄養学科編～	全学年	81
2011/1/24	永国寺	郵便局株式会社 会社説明会	3 回生	1
2011/2/5	永国寺	国家・地方公務員の仕事	1・2・3 回生	3
2011/2/6	市内	公務員公開模擬試験	全学年	2
2011/2/10	池	就業前ワンポイント講座～知っておきたい労働基準法～	4 回生	16
2011/2/19・20	池	就職必勝！実践 WIN 講座 * 有料	3 回生	7
2011/3/18	池	模擬面接会	3 回生	2

【学部主催の就職セミナーについて】

1) 2009年度 第 3 回健康栄養学科就職セミナー

～教えて先輩！ 健康栄養学科編～

2010年 1 月 18 日（月）14：15～16：30

講師：ワクワク Work!! 坂本ひとみさん、

4 回生就職内定者 5 名（栄養教諭 1 名、病院 1 名、老人福祉施設 1 名、企業 2 名）



2) 2010年度 第 1 回健康栄養学部就職セミナー

～社会人一年生の先輩を迎えて～

2010年 10 月 9 日（土）9：30～12：00

講師：ワクワク Work!! 松木文香さん、南由紀さん、平成 21 年度卒業生 4 名（栄養教諭 1 名、病院 2 名、企業 1 名）

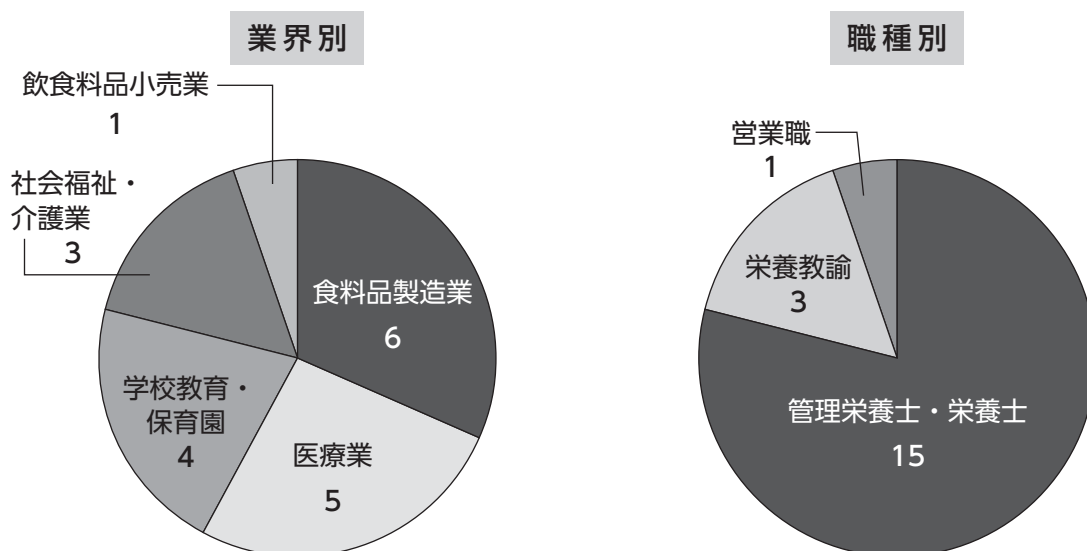


3) 2010年度 第2回健康栄養学部就職セミナー
 ～教えて先輩！ 健康栄養学科編～
 2011年1月17日(月) 16:10～18:30
 講師：ハローワーク高知 大卒ジョブサポーター
 依光美佳さん、4回生就職内定者5名（栄養教諭
 1名、病院2名、給食委託会社1名、企業1名）



2. 成果

平成22年度3月の卒業生は20名であり、そのうち進学者1名を除く19名が内定し、就職内定率は100%であった。2月ごろまで内定が取れず就職活動が停滞していた学生は、就職担当教員・ワクワク Work!! 職員・ジョブサポーターの連携した個別指導の結果、地に足のついた就職活動を開始し、内定を取ることができた。また、ジョブサポーターによる全国ハローワークにおける大学新卒者への採用状況の迅速な情報提供などのきめ細かな個別支援も100%の就職につながった要因と考えられる。内定先の業界別及び職種別内訳を示す。



3. 平成23年度の課題

平成23年3月11日に発生した東日本大震災が就職状況へ大きく影響することが考えられる。その状況の下、これまでの就職内定率100%を維持していくには、さらなる就職支援体制の充実が必要となってくる。大学教育にとって、学生がどこに就職できるかは大学の魅力の大きな要因の一つとなっていると考えられる。したがって、キャリアセンター（ワクワク Work!!）の役割は大きく、キャリアセンターの充実化を図り、キャリアセンターと学部就職担当教員・学年担当教員が連携し、卒業研究指導教員及びキャリアセンター委員との協力体制を充実させ、就職活動を今以上に活発にする個別指導をしていくことが重要となってくる。

1. 活動方針

受験生により深く健康栄養学部を知ってもらうために、ホームページを通して学部で実施している様々な学内・学外活動の紹介及びオープンキャンパスでの健康栄養学部の施設案内などの活動を積極的に取り組む。

2. 活動内容

1) オープンキャンパス

本年度は、学部説明会や各研究室を巡るスタンプラリー、在学生・教員による相談コーナー、授業風景などを紹介したパネル展示を実施した。研究室スタンプラリーではスタンプを押してまわるだけでなく、各研究室の専門分野にちなんだミニ実験・実習を開催し、大学の授業雰囲気を経験してもらった。

2) 365日オープンキャンパス

健康栄養学部では大学のオープンキャンパス以外に、いつでも健康栄養学部を見学できる365日オープンキャンパスを行ってきた。主な内容としては、学部教員が“学部の説明”、“講義室、実験・実習室の見学”などを紹介し、高校生により深く健康栄養学部について知ってもらえるよう取り組んできた。平成22年度の参加者は県内18名、県外37名の計55名であった。

3) ホームページ

平成22年度より生活科学部健康栄養学科から健康栄養学部へ昇格したことにより、ホームページのリニューアルを実施した。また、健康栄養学部で行われた実験・実習風景や校内・外で行われたイベント参加風景などを掲載した。

4) 大学案内2011

年度末の完成に向け、授業紹介のための写真撮影や在学生のコメントなどの準備を行ってきた。

3. 2010年度オープンキャンパスの様子



全体説明



4回生によるミニ実験

1. 活動方針

大学再編に伴う大学の組織体制整備を基盤にして、教育・研究活動における地域とのつながりを強化する。

2. 活動内容

1) 高知女子大学ニュースレターの編集（全学的活動）

2) 4大学県民講座開催（全学的活動）

テーマ：自分らしく生きる

日 時：平成22年12月12日(日) 10時～16時

場 所：高知女子大学永国寺キャンパス203講義室、205教室、2階会議室

3) 健康栄養学部リカレント教育講座実施（学部での活動）

平成22年度高知女子大学リカレント教育講座として、健康栄養学部では、栄養士、管理栄養士の資格を有する方、もしくは地域の健康・保健・医療・福祉・教育等に従事されている方を対象に、「情報整理の達人講座」を開催した。当講座は、「保健統計・疫学のツボ」と、「データベースを作成して、職場の情報や自分の生活管理をおこなってみませんか？」の2講座（両講座とも定員20名）あり、受講希望者は、どちらか一方もしくは両講座とも申し込みが可能であり、当日の受講者数は、下表のとおりであった。

平成22年4月に健康栄養学部となり、キャンパスが永国寺から池キャンパスへ移転し、初めての講座となった。また、最新設備の整った情報演習室での実習で、受講された方々からは、内容、施設ともに大変好評であった。

開催日	講座名	講 師	受講者数
平成23年 2月19日(土)	保健統計・疫学のツボ	健康栄養学科 教授 和田 安彦	8名
平成23年 3月19日(土)	データベースを作成して、職場の情報や自分の生活管理をおこなってみませんか？	健康栄養学科 教授 佐藤 厚	7名

3. 今後の課題

地域に根差した大学として、地域の方々に健康栄養学部の特色を活かした話題を提供、発信していきたい。設備のことを考慮すると、内容によっては収容人数の問題も発生するが、一人でも多くの地域の方々に参加していただけるためには質の高い講座内容の選定はもちろんの事、斬新な企画が必要である。

1. 活動方針

健康長寿センター運営委員会では、以下の4つの事業を柱に委員会活動を行った。

- 1) 健康長寿社会を支える介護福祉のあり方を考える啓発事業
- 2) 高知医療センターとの協働による健康長寿社会の実現に向けて、専門識者の力量アップ事業
- 3) 健康長寿を目指した地域連携事業
- 4) 専門職人材養成事業

2. 活動内容

- 1) 健康長寿社会を支える介護福祉のあり方を考える啓発事業：高知県下において3回「健康長寿セミナー」を開催した。
 - 健康栄養学部企画：「栄養バランスの良い食生活」（荒牧礼子准教授、廣内智子講師）
平成22年11月28日（日）13時30分～15時、本部・健康栄養学部棟
 - 看護学部企画：「正しく知ろう、認知症」（竹崎久美子教授）
平成23年3月10日（木）、13時30分～、仁淀川町中央公民館
 - 社会福祉学部企画：「認知症とその理解－安心して暮らせるために－」（菜の花診療所、北村ゆり医師）平成23年3月23日（水）、14時～16時、永国寺キャンパス
- 2) 高知医療センターとの協働による健康長寿社会の実現に向けて、専門識者の力量アップ事業：医療センターとの共同開催による学習会を実施した。
「インフォームド・コンセントと説明同意文書」「あなたの常識は私の非常識」
- 3) 健康長寿を目指した地域連携事業：池キャンパス図書館に「県民長寿文庫」100冊余りを設置した。
- 4) 専門職人材養成事業：医療専門職を対象とした執筆活動（健康長寿センター長 池田光徳教授）
「皮膚で見つける内科疾患」（メディカルレビュー社）「高齢者の皮膚のトラブル FAQ」

<健康長寿セミナー開催風景>

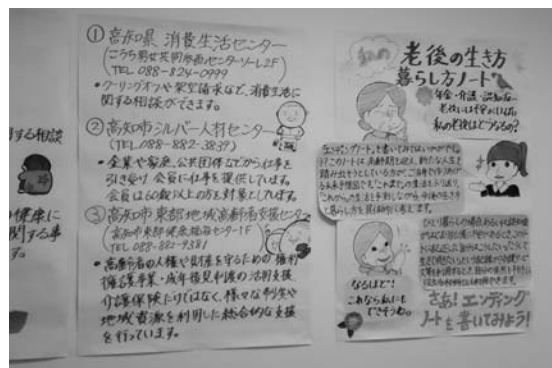
池キャンパスのホームグラウンドである三里地区在住の方々を対象に、健康栄養学部が中心となり、1日女子大生の参加者を募集した。当日は34名の参加者を得て、健康や食生活について楽しく学んだ。



バランスカード（トランプ）を使って今夜の晩御飯を考える。思わず笑みが…



本物そっくりのフードモデルを手にとって、解説にも力が入る健康栄養学部生



最後に現役女子大生からのメッセージを受け取り、大盛況のなか、講座が終了

3. 今後の課題

健康長寿センター運営委員会では、地域の人々に健康について考えていただく機会を提供し、仲間作りや生きがいを持って生活できるよう支援することを目的として活動してきた。今年度は、高齢者を対象としたセミナーを企画してきたが、今後は年齢の幅を広げ、若年から健康について考えていただく機会を設けていきたいと考える。

1. 活動方針

国際交流委員会では、以下の活動方針のもとで委員会活動を行った。

- 1) 国際交流締結校との交流を進める。
- 2) 留学生の生活相談や留学生との交流等を目的とした学内専用スペースの活用を図る。
- 3) 国際交流運営のノウハウの蓄積や教職員間・交流校間の連携を密にし、体制の強化を図る。
- 4) 本学の学生の国際交流に関する意識向上を図る。
- 5) 海外での事故等を想定した危機管理体制について検討する。

2. 活動内容

- 1) 国際交流締結校との交流を進める
エルムズ大学・カリフォルニア州立大学ノースリッジ校（CSUN）、北京外語学院（中国）・文藻外語学院（台湾）との交換留学生募集要項を作成し、説明会を各3回、計6回行った。応募した学生に対し面接を実施した。
- 2) 留学生の生活相談や留学生との交流等を目的とした学内専用スペースの活用を図る：永国寺キャンパスに学内専用スペース（国際交流室）を整備、開設した。
- 3) 国際交流運営のノウハウの蓄積や教職員間・交流校間の連携を密にし、体制の強化を図った。
- 4) 本学の学生の国際交流に関する意識向上を図る：バスハイクを行い、交流を深めた。
- 5) 海外での事故等を想定した危機管理体制について検討する：危機管理マニュアルを作成した。

3. 平成22年度活動実績

エルムズ（USA）との交流

エルムズ大学2010年短期派遣：平成23年2月22日（火）から3月5日（土）高知出発帰高10名（文化学部4名、社会福祉学部4名、健康栄養学部2名）

エルムズ大学2011年短期受け入れ：平成23年5月17日（火）から6月3日（金）高知滞在6名（男子学生3名、女子学生3名）

バスハイク：平成22年6月19日（土）中国人学生2名、台湾人学生1名、本学学生8名、教職員2名

4. その他

今後の課題について、リスク対応マニュアルの整備緊急連絡網（平成23年度版作成）・安全ガイド・マニュアル等について来年度整備・作成することとした。

また、「緊急時対応カード」に電話番号だけでなく、メールアドレス・直接対話できる環境（大使館等の電話番号等）等記入し、整えて作成していく。

1. 活動方針

健康管理センターの活動方針は以下の通りである。

- 1) 健康教育活動の活性化（健康教育講演会の開催）
- 2) 健康自己管理活動の促進（ヘルスパスポートの活用促進等）
- 3) 健診活動の強化
- 4) 健康相談活動の充実
- 5) 健康危機管理体制の確立に向けた取り組み
- 6) 健康管理に関する個人情報保護
- 7) 健康管理センターの環境整備

運営委員会としては、以上をより良いものとするように予算も含め議論する。

2. 活動内容

- 1) 健康教育活動の活性化：健康教育講演会のあり方や内容について運営委員会で議論した。結果、各学年対象に4回講演会が以下の内容で開催された。うち4回目を除く3回は池と永国寺の両キャンパスで行われた。
 - ①「女性の健康とからだについて」（高知医療センター婦人科長 木下宏美医師）
 - ②「食事と健康について」（本学部 島田郁子講師、廣内智子講師）
 - ③「知っておきたいメンタルヘルス」（社会福祉学部 林美朗教授）
 - ④「薬物乱用の現状と薬物乱用が心身に及ぼす影響」（四国厚生支局麻薬取締部 小牟田竜一捜査課長）

参加率については①（1年生対象）が8割であったが、④（3年生対象）は本学部の8名のみで低率（3.3%）であった。運営委員会としては開催時間と広報などが課題であると認識した。

- 2) 健康自己管理活動の促進：今年度から導入された「ヘルスパスポート」の活用を促したが、当学部教員にはあまり周知されていなかった。そこに記載されている時間外急病時連絡体制も学生便覧との整合性がとれておらず、学生、教員とも混乱があった。運営委員会ではこの点を議論した。その他、感染症情報をホームページに掲載した。
- 3) 健診活動の強化：結果に基づき個別面談をセンターで行った。
- 4) 健康相談活動の充実：助産師の相談日を新たに設けた。また相談室利用時間の延長を行った（火、金については18時まで）。
- 5) 健康危機管理体制の確立に向けた取り組み：感染症発生時の情報伝達経路について運営委員会で議論され、次年度の学生便覧には掲載される予定。学内での急病人が出た場合の対応等は協議できていない。

- 6) 健康管理に関する個人情報保護：ガイドラインの素案を運営委員会で議論した。当学部からの意見として、情報の保護には「保全」も含まれること、情報を長期にわたって保管することは学生と大学双方にとって有益であるので、この点をもっと重視するよう主張した。結果、「卒業5年で廃棄」という素案の内容は削除された。入学時、成績などの個人情報と別にわざわざ健康情報の利活用について同意をとる必要があるのか、一括で良いのでは、との議論もあった。
- 7) 健康管理センターの環境整備：男女共学化にともなう静養室のベッド等の整備やセルフケアコーナーの充実について議論した。

3. その他

昨年度に作られた「健康管理センター立ち上げワーキンググループ」の構成員が事務局以外はすべて特定学部のメンバーだったことも関係しているのか、全学的に整合性がとれていなかったり、周知されていない点があるように感じた。このことは今後の課題であると思われる。

総合情報センター運営委員会 村上 尚

1. 活動方針

総合情報センターでは図書資料の収集、整理、保存、閲覧、調査を行うとともに、情報処理システムの管理、運営を行っている。これらを通して教職員及び学生の情報処理に関する教育、研究の支援を行うだけでなく、地域社会の図書館活動及び学術情報システムの確立に協力し、地域の発展に寄与することを総合情報センターの目的としている。総合情報センター運営委員会では、センターの運営その他に関する重要な事項を審議している。

2. 活動内容

高知県立大学への運営形態の変更に伴い、高知県立大学総合情報センター・高知短期大学総合情報センター規程やセンター運営委員会規程など、関連する規程を制定した。

その他、総合処理部門では、池キャンパスのサーバを仮サーバ室からサーバ室へ移設し、それに伴って一部ネットワークの張り替えを行った。また、池キャンパス共用棟 情報演習室 LL のパソコンを購入し、設定した。図書部門においては、新たに電子ジャーナル (EBISCO) を導入すると共に、池キャンパス図書館の増築工事に伴う図書館運営に関して審議した。

3. その他

新ドメイン名「u-kochi.ac.jp」および「高知県立大学.jp」への移行期間が2011年8月31日までなので、その周知をはかる。

図書館展示コーナーの活用方法に関する提案を募る。

1. 活動方針

セクシャル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメントなど、人権に関する問題について、相談を受け付け、委員会で審議し、本学における良好で快適な研究教育環境を実現するために、活動している。

2. 活動内容

昨年度は、委員会を3回開催したが、委員会への人権に関する相談はなかった。委員会の取り組みとしては、各委員が分担し、2010年4月から7月までの、各新聞等に取りあげられた人権に関する記事を調査し、各学部の研修会用の資料とした。

3. その他

ハラスメントをなくすための相談窓口が、本学ホームページに掲載されている。

1. 活動方針

健康栄養学部および大学院の学生や教員が実施する健康栄養学領域における研究の倫理に関する事項の審議をしており、本学における倫理基準に沿った適切な研究を行うために、活動している。

2. 活動内容

研究倫理審査の申請があれば、研究倫理審査委員会を開催する。昨年度は、11件の研究について倫理審査を実施した。

※審査結果の内訳：承認9件・非該当2件

1. 活動方針

高知女子大学紀要投稿要領、高知女子大学紀要原稿執筆要領、高知女子大学紀要査読要領に則り、年に一度の紀要を発行する。

2. 活動内容

平成22年度 紀要編集スケジュール	
平成22年 6月21日(月)	第1回紀要編集委員会
9月24日(金)	紀要原稿投稿の締め切り
9月27日(月)	第2回紀要編集委員会
9月27日(月)～10月25日(月)	初回査読(4週間以内)
10月25日(月)～11月15日(月)	初回査読の修正(3週間以内)
11月15日(月)	再査読の依頼(再査読期間2週間以内)
11月29日(月)	再査読完了
11月29日(月)～12月13日(月)	再査読の修正(2週間以内)
12月13日(月)	第3回紀要編集委員会(掲載論文決定)
12月13日(月)～平成23年1月11日(火)	印刷
平成23年 1月12日(水)～1月21日(金)	第1回著者校正
1月24日(月)～2月4日(金)	第1回訂正印刷
2月4日(金)～2月10日(木)	第2回著者校正
2月14日(月)～3月7日(月)	第2回訂正印刷
3月8日(火)	印刷終了・納入
3月9日(水)	発送作業(年度内に関係機関に発送)

3. その他

※平成21年度までは生活科学部に所属していたが、平成22年度は健康栄養学部になってから初の紀要発行であった。高知女子大学紀要 健康栄養学部編 第1巻2011年3月(平成23年3月)発行の論文題目及び著者一覧を以下に示す。

論文題目	著者
女子大生の食選択の実態および情報提供の効果に関する研究	島田郁子、中島亜理沙、平瀬千佳、吉岡奈緒、沼田聡
炊飯米のテクスチャー特性に及ぼす茶抽出液の影響	彼末富貴、川村真美、楠瀬幸、折原洋一、野中翔太、喜瀬光男、渡邊浩幸
クックチルシステムを用いた減塩食についての基礎的検討	沼田聡、平瀬千佳、吉岡奈緒、中島亜理沙、島田郁子
単為結果性ナス育種に関する研究－単為結果性の遺伝的解明および単為結果性高知ナス系統試交60号の育成－	岡田昌久

高知県立大学（高知女子大学）健康栄養学部報 第1号

平成22(2010)年度版

発行日：平成24年2月

編集：高知県立大学（高知女子大学）健康栄養学部報編集委員会

発行：高知県立大学（高知女子大学健康栄養学部

〒781-8515 高知市池2751番地1

TEL 088-847-8700（代表）

印刷：西村謄写堂

